

令和3年度 枚方市教育委員会
主要事業進捗状況

(令和3年9月30日現在)

令和3年11月
枚方市教育委員会

主要事業一覽

基本方策	主要事業名	担当部署名	備考
基本方策 1	①小中一貫教育推進事業	学校教育室 (教職員担当) (教育指導担当)	
	②学校園活性化事業	学校教育室 (教育指導担当) 公立保育幼稚園課	
	③枚方市少人数学級充実事業	学校教育室 (教職員担当)	
	④学校 I C T 機器等整備業務 (小中学校教育用 I C T 機器等整備事業)	学校教育室 (教育研修担当)	
	⑤多文化共生教育研究事業 (多文化共生教育推進事業)	教育支援室 (児童生徒支援担当)	
	⑥英語教育推進事業	学校教育室 (教育指導担当) (教職員担当)	
	⑦読書活動推進事業	学校教育室 (教育指導担当)	
	⑧進路指導等事務	教育支援室 (児童生徒支援担当)	
	⑨学力向上推進事業 (放課後自習教室事業)	学校教育室 (教育指導担当)	
基本方策 2	①人権教育推進研究事業 (人権教育推進事業)	教育支援室 (児童生徒支援担当)	
	②多文化共生教育研究事業【再掲】	教育支援室 (児童生徒支援担当)	
	③帰国児童等に対する教育指導員派遣事業	教育支援室 (児童生徒支援担当)	
	④小中一貫教育推進事業【再掲】	学校教育室 (教育指導担当)	
	⑤学校水泳授業民間活用事業	新しい学校推進室 学校教育室 (教育指導担当) 施設整備室	令和 3 年度新規
	⑥部活動指導協力者派遣事業	学校教育室 (教育指導担当)	
	⑦学校支援社会人等指導者活用事業	学校教育室 (教育指導担当) 公立保育幼稚園課	
	⑧学校給食事業	おいしい給食課	
	⑨学校給食における地元農産物利用促進事業	おいしい給食課	
	⑩食物アレルギー対応推進事業	おいしい給食課	
	⑪学校健康管理事業	教育支援室 (学校支援担当)	
	⑫健康診断事業	教育支援室 (学校支援担当)	
	⑬中学校給食充実事業	おいしい給食課	
	⑭文化財活用事業	文化財課	
	⑮野外活動センター利用促進事業	スポーツ振興課	

基本方策 3	①枚方市教職員育成事業	学校教育室 (教育研修担当)	
	②授業の達人養成・教科研究事業	学校教育室 (教育研修担当)	
	③学校園活性化事業【再掲】	学校教育室 (教育指導担当) 公立保育幼稚園課	
基本方策 4	①支援教育推進事業	教育支援室 (児童生徒支援担当)	
	②通学困難児童・生徒通学等タクシー支援事業	教育支援室 (児童生徒支援担当)	
	③枚方市教職員育成事業【再掲】	学校教育室 (教育研修担当)	
	④幼児支援教育推進事業 (就学前支援教育推進事業)	公立保育幼稚園課	
基本方策 5	①幼児教育充実事業	公立保育幼稚園課	
	②学校園活性化事業【再掲】	学校教育室 (教育指導担当) 公立保育幼稚園課	
	③学校支援社会人等指導者活用事業【再掲】	学校教育室 (教育指導担当) 公立保育幼稚園課	
	④幼稚園保護者支援充実事業 (預かり保育事業)	公立保育幼稚園課	
	⑤市立幼稚園における3歳児保育実施事業	公立保育幼稚園課	
基本方策 6	①コミュニティ・スクール推進事業	学校教育室 (教育指導担当)	
基本方策 7	①小学校安全監視事業	新しい学校推進室	令和2年度は「通学路等安全対策事業」
	②通学路安全対策事業	新しい学校推進室	
	③小中学校安全対策事業	教育支援室 (児童生徒支援担当)	
	④生徒指導充実事業 (枚方市生徒指導体制充実事業)	学校推進室 (教職員担当)	
	⑤いじめ問題対策事業	教育支援室 (児童生徒支援担当)	
	⑥スクールアドバイザー派遣事業	教育支援室 (児童生徒支援担当)	
	⑦教育相談事業	教育支援室 (児童生徒支援担当)	
	⑧「心の教室相談員」配置事業	教育支援室 (児童生徒支援担当)	
	⑨福祉・教育ソーシャルワーク事業	子どもの育ち見守りセンター	
	⑩不登校児童・生徒支援事業	教育支援室 (児童生徒支援担当)	
	⑪適応指導教室事業	教育支援室 (児童生徒支援担当)	
基本方策 8	①学校整備・保全事業	施設整備室	令和2年度は「学校園施設維持補修事業」・「学校施設整備事業」
	②学校空調設備整備・維持管理事業	施設整備室	

基本方策 8	③学校規模等適正化事業	新しい学校推進室	
	④学校 I C T 機器等整備業務【再掲】	学校教育室 (教育研修担当)	
	⑤校務の情報化推進事業	学校教育室 (教育研修担当)	
	⑥学校給食事業【再掲】	おいしい給食課	
	⑦樟葉西小学校給食調理場改修事業	おいしい給食課	令和 3 年度新規
基本方策 9	①社会教育活動推進事業	教育政策課	
	②生涯学習事業	文化生涯学習課	
	③図書館資料購入事務	中央図書館	
	④分館・分室巡回業務	中央図書館	
	⑤中央図書館運営事業	中央図書館	
	⑥図書館分館運営事業	中央図書館	令和 2 年度は「香里ケ丘図書館・香里ケ丘中央公園みどりの広場運営事業」
	⑦コンピュータシステム運営事業	中央図書館	
	⑧障害者利用促進事業	中央図書館	令和 3 年度新規
	⑨電子図書館運営事業	中央図書館	令和 3 年度新規
	⑩学校図書館支援事業	中央図書館	令和 3 年度新規
	⑪読書活動推進事業【再掲】	学校教育室 (教育指導担当)	
基本方策 10	①文化財活用事業【再掲】	文化財課	
	②野外活動センター利用促進事業【再掲】	スポーツ振興課	
	③文化芸術創造拠点形成事業	文化生涯学習課	
	④文化財保護管理事業	文化財課	
	⑤市指定文化財補助事業	文化財課	
	⑥特別史跡百済寺跡再整備事業	文化財課	
	⑦市史編さん年報発行事務	文化財課	
	⑧各種スポーツ大会等開催事業	スポーツ振興課	
	⑨スポーツ推進事業	スポーツ振興課	
	⑩総合型放課後事業（放課後キッズクラブ）	教育支援室 (放課後子ども担当)	
	⑪留守家庭児童会室運営事業	教育支援室 (放課後子ども担当)	
	⑫枚方子どもいきいき広場補助事業	教育支援室 (放課後子ども担当)	

基本方策1 確かな学力と自立を育む教育の充実

知・徳・体の調和のとれた「生きる力」を育み、将来の社会を担う人材を育成するためには、子どもの学習意欲を向上させるとともに、基礎的な学力や自ら学び考える力を伸ばしていくことが求められています。新学習指導要領では、「生きる力」をより具体化し、教育課程全体を通して育成する資質・能力を「知識及び技能の習得」「思考力、判断力、表現力等の育成」「学びに向かう力、人間性等の涵養」の三つの柱に整理されました。

また、新型コロナウイルス感染症等の危機事象が起こった際にも、子どもたちを誰一人取り残すことのない、個別最適化された学びを実現していくことが必要です。

学校教育においては、新学習指導要領の趣旨を踏まえ、求められる資質・能力が偏ることなく実現できるように「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を推進し、子どもたちの確かな学力と自立を育みます。

また、9年間を見通した教育課程の編成、小・中学校の円滑な接続、幼保こ小等の円滑な接続^①を踏まえ、教職員の指導力や学校力の向上を図ります^②。

小学校において本市独自の少人数学級編制を実施し、よりきめ細かな指導を実践します^③。また、超スマート社会（Society 5.0）に対応するため、プログラミング教育の推進や情報活用能力の育成の視点も踏まえながら、令和2年6月に策定した「枚方市学校教育におけるICT活用の方針」や、国のGIGAスクール構想に基づき、一人一台のタブレット端末等のICTを活用した協働型・双方向型の授業及び個別最適化された学びを推進します^④。

諸外国の文化や習慣等について理解を深める国際理解教育を推進し^⑤、市内大学とも連携しながら、国際化に対応した英語によるコミュニケーション能力を育成します^⑥。また、学校図書館の活用による言語能力の育成^⑦や、職業体験や社会見学、社会人による特別授業等により、社会と関わる機会を多く作るなど、キャリア教育を推進します^⑧。

さらに、新たな感染症等の危機事象による学校の臨時休業などにも対応できるよう、オンライン授業の実施等のICTを適切に活用した学習活動の充実を図る^④など、子どもたちの「自立」「協働」「創造」する力を育む新しい教育に向けた取組を進めます^⑨。

主要事業の状況

1-①	小中一貫教育推進事業	担当課	学校教育室 (教職員担当) (教育指導担当)	事業費計 予算額 (千円)	37,316 16,061
概要		進捗状況（令和3年9月30日現在）			
<p>○学力向上の取組み</p> <p>◆全中学校区にコーディネーターを配置し、学力向上委員会や教科会、学年会等の充実を図り、組織的な取組を推進するとともに、学力向上・授業づくりに高い見識を有する学識経験者を招聘し、教員の授業力向上を図る。</p> <p>◆教科会・学年会における授業研究の推進を図るとともに、児童・生徒一人ひとりの課題を踏まえ、宿題や自学自習ノート等、家庭における学習習慣の充実に努める。</p> <p>○体力向上の取組み</p> <p>◆各小中学校で、今まで行ってきた体力テストの結果を基に、現状の児童・生徒に合わせた体力向上推進計画を作成・実践する。大阪体育大学と連携して、授業改善をはじめ児童・生徒の体力向上に向けた取組を推進する。</p>		<p>○学力向上の取組み</p> <p>◆全中学校区に学力向上に特化したコーディネーターを配置し、学力向上委員会や教科会、学年会などの校内組織の充実を図るとともに、学識経験者による講義や指導・助言を受けながら、授業改善や少人数指導など学力向上に向けた取組を推進している。</p> <p>◆授業改善や家庭学習等の充実に向けて、各校の情報教育推進担当を中心に、ICT機器の活用を図っている。</p> <p>○体力向上の取組み</p> <p>◆各小中学校で、児童・生徒の実態に応じた体力向上推進計画を作成し、実践している。また大阪体育大学と連携した研究指定校2校において、体力向上に向けた取組を実践している。成果等は、3学期に予定している公開授業にて発表予定である。</p>			

指標の説明		年度	R 1 年度	R 2 年度	R 3 年度
(実績値の内容) 全国学力・学習状況調査の学力調査の平均正答率	実績値 (%)	[小学校] 国語：61.00 算数：68.00	全国学力・学習状況調査中止のため実績なし	[小学校] 国語：63.00 算数：70.00	
		[中学校] 国語：72.00 数学：60.00		[中学校] 国語：63.00 数学：56.00	
		目標値 (%)		[小学校] 国語：63.80 算数：66.60	全国学力・学習状況調査中止のため設定なし
(目標値の根拠) 小学校：国語 全国平均 算数 全国平均×1.01 以上 中学校：国語 全国平均 数学 全国平均×1.01 以上	[中学校] 国語：72.80 数学：59.80	[中学校] 国語：64.60 数学：57.77			
達成度 (%)	[小学校] 国語：95.61 算数：102.10	全国学力・学習状況調査中止のため測定不能	[小学校] 国語：97.37 算数：98.73		
[中学校] 国語：98.90 数学：100.33	[中学校] 国語：97.52 数学：96.94				
指標のめざすべき方向	↑				
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			達成度
	市長公約	平成28年度市政運営方針、令和元年度所信表明			
	実行計画	平成30年度当初実行計画			達成度の推移
	関連計画	—			

1-②	学校園活性化事業	担当課	学校教育室 (教育指導担当) 公立保育幼稚園課	事業費計 予算額 (千円) ※人件費を含む	43,074
概要		進捗状況(令和3年9月30日現在)			
◆全学校園を学校園活性化推進校園として指定し、教育課題の解決や教職員の資質向上を図るため、校(園)内研修の充実を進めるとともに、年1回以上教職員対象の公開授業を実施し、授業改善等に活用する。また、菊咲かそう体験事業や、小学生陸上競技大会、小学生駅伝競走大会、小学生合同音楽会等の教育委員会が主体となる事業を実施する。		◆各小・中学校が設定した研究主題に沿って、校内研修等を計画し、54校において外部講師を招聘した校内研修を総計120回実施した。 公開授業は、緊急事態宣言の発出を受けて、全校が実施を延期している。 菊咲かそう体験事業は全校園にて実施した。なお、菊花展への出展は希望制にて実施した。小学生陸上競技大会及び小学校合同音楽会は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から中止とした。 ◆各幼稚園が設定した研究主題に沿って、園内研修等を計画し、3園において外部講師を招聘した園内研修を総計7回実施した。 公開保育は、緊急事態宣言の発出を受けて、全園が実施を延期している。			
指標の説明		年度	R1年度	R2年度	R3年度
(実績値の内容) 全国学力・学習状況調査の質問紙調査において「学級の友達(生徒)との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う」の設問に対する児童・生徒の肯定的な回答の割合		実績値(%)	小:76.70 中:78.90	全国学力・学習状況調査中止のため実績なし	小:78.6 中:82.9
(目標値の根拠) 全国平均以上		目標値(%)	全国平均 小:74.10 中:72.80	全国学力・学習状況調査中止のため設定なし	全国平均 小:78.8 中:77.8
指標のめざすべき方向		達成度(%)	小:103.51 中:108.38	全国学力・学習状況調査中止のため測定不能	小:99.75 中:106.56
		↑			
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			達成度
	市長公約	—			達成度の推移
	実行計画	—			
	関連計画	—			

1-③	枚方市少人数学級充実事業	担当課	学校教育室 (教職員担当)	事業費計 予算額 (千円) ※人件費を含む	411,658
概要		進捗状況 (令和3年9月30日現在)			
<p>◆府内の公立小学校では、小学校第1学年及び第2学年で、1学級35人以下の少人数学級編制が実施されているが、本市では、小学校における少人数学級編制を充実させ、子どもたち一人ひとりに対し、きめ細かな指導を行うことで、児童への教育効果を高めるため、支援学級在籍児童を含んで1学級35人以下とする市独自の少人数学級編制を第4学年まで実施する。また、第5・第6学年については、支援学級在籍児童を含む40人学級編制を実施する。</p> <p>◆学級数が増える学校に対して市費負担任期付教員を採用し配置する。</p>		<p>◆本市独自の支援学級在籍児童を含めた少人数学級編制として、小学校第1学年から小学校第4学年までは35人、第5・第6学年については40人で実施とするため、市費負担任期付教員の採用・配置に取り組んでいる。</p> <p>◆本市独自の学級編制による増学級数75学級に対し、任期付講師72人、臨時講師3人を配置した。</p>			
指標の説明		年度	R1年度	R2年度	R3年度
<p>(実績値の内容) 基礎学力のたしかめテストにおいて到達基準に達した人数の割合</p> <p>(参考指標1) ※ (参1) と表記 学年末テストにおける全国調査の過去問題を活用した「課題に正対した問題」の平均正答率 (参考指標2) ※ (参2) と表記 保護者アンケートにおいて「子どもは授業が楽しく分かりやすいと言っている。」と回答した割合</p>		実績値 (%)	81.50 (参1) 46.10 (参2) 90.30	88.02 (参1) 43.60 (参2) 88.82	調査未実施 (9月30日現在)
<p>(目標値の根拠) 対前年度比向上</p> <p>(参考指標1) 対前年度比向上 (参考指標2) 90%以上</p>		目標値 (%)	86.60 (参1) 48.50 (参2) 90.00以上	81.50 (参1) 46.10 (参2) 90.00以上	88.02 (参1) 43.60 (参2) 90.00以上
指標のめざすべき方向		達成度 (%)	94.11 (参1) 95.05 (参2) 100.33	108.00 (参1) 94.57 (参2) 98.68	調査未実施 (9月30日現在)
		↑			
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			達成度
	市長公約	平成30年度市政運営方針			
	実行計画	平成30年度当初実行計画			達成度の推移
	関連計画	—			

1-④	学校ICT機器等整備業務 (小中学校教育用ICT機器等整備事業)		担当課 学校教育室 (教育研修担当)	事業費計 予算額 (千円) ※人件費は除く	791,718
概要			進捗状況(令和3年9月30日現在)		
<ul style="list-style-type: none"> ◆全小・中学校の授業用コンピュータ機器等の維持・管理を行う。 ◆「1人1台」端末の導入に伴い、活用充実に向けたソフト面の整備及び評価を行う。 ◆授業支援ソフトウェア、MDMなどの整備、大型提示装置の周辺機器等を整備する。 			<ul style="list-style-type: none"> ◆ICTサポート員の学校訪問回数を9月末までに全校月3回へと順次拡充した。 ◆令和2年度に「1人1台」端末やネットワーク環境の整備が完了し、令和3年度からはICT機器等の維持管理(三脚など周辺機器の整備含む)を行っている。また、令和2年度に策定した「枚方版教育モデル」に基づき、学校でのICT利活用を推進している。 ◆緊急事態宣言期間中の学びを止めないための取組みとして、学校でも家庭でも同様の授業を受けられるオンライン併用型の「ハイブリッド型授業」を実施した。 		
指標の説明		年度	R1年度	R2年度	R3年度
(実績値の内容) 教員のICT活用指導力チェックリスト「教育効果を上げるために、コンピュータやインターネットなどの利用場面を計画して活用することができますか。」に対して肯定的な回答をした割合		実績値 (%)	-	88.4	89.7
(目標値の根拠) 肯定的回答の割合100%		目標値 (%)	-	100	100
指標のめざすべき方向		↑	達成度 (%)	-	88.4
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			達成度
	市長公約	平成29・30年度・令和2年度市政運営方針、令和元年度所信表明			
	実行計画	平成29年度当初実行計画			達成度の推移
	関連計画	枚方市版ICT教育モデル 教育の情報化に関する手引-追補版-文科省			

1-⑤	多文化共生教育研究事業 (多文化共生教育推進事業)		担当課 教育支援室 (児童生徒支援担当)	事業費計 予算額 (千円) ※人件費は除く	216
概要			進捗状況(令和3年9月30日現在)		
<ul style="list-style-type: none"> ◆学校園における在日外国人教育・国際理解教育の推進を図るため、枚方市多文化共生教育研究会において研究事業に取り組む。 			<ul style="list-style-type: none"> ◆本市立学校における在日外国人教育・国際理解教育のために、講演会・学習会等、様々な研究を行っている。令和3年度は、書面開催やオンライン開催など工夫した開催方法で様々な研究を推進している。 		
指標の説明		年度	R1年度	R2年度	R3年度
(実績値の内容) 年6回開催する講演会・学習会に参加する教職員の延べ人数		実績値 (人・校)	377	225	0
(目標値の根拠) 前年度実績		目標値 (人・校)	338	377	225
指標のめざすべき方向		↑	達成度 (%)	111.54	59.68
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			達成度
	市長公約	—			
	実行計画	—			達成度の推移
	関連計画	—			

1-⑥	英語教育推進事業	担当課	学校教育室 (教育指導担当) (教職員担当)	事業費計 予算額 (千円) ※人件費を含む	210,143	
概要			進捗状況(令和3年9月30日現在)			
<p>◆全中学校に外国人英語教育指導助手(NE T)、全小学校に日本人英語教育指導助手(J T E)を配置し、英語を使った体験的な学習の充実を図る。また、小学校に英語専科教員を配置するとともに、小学校で指導する外国人英語教育指導助手(NE T-E)を配置し、小学校外国語活動の指導体制の強化を図る。</p> <p>◆英語の4技能(「聞くこと」「読むこと」「話すこと」「書くこと」)をバランスよく育成するため、全市立中学校第2学年の全生徒を対象に4技能に対応した外部検定試験を実施し、その結果分析をもとに授業改善、個に応じた指導及び生徒の学習意欲の向上に活用する。</p> <p>◆関西外国語大学と連携し、留学生との交流等英語を使った体験的な活動の充実を図り、より実践的な英語力を育むため「枚方英語村」を実施する。</p>			<p>◆全中学校にNE T、全小学校にJ T Eを配置し、英語を使った体験的な学習を実施している。また、小学校市費負担英語専科教員と府の加配を活用し、NativeSpeakerで小学校特別免許を所有する教員を含む専科教員を配置し、小学校外国語教育の指導体制の充実を図っている。</p> <p>小学校での外国語の授業においては、校区中学校のNE Tを小学校へ派遣し、NE T-Eについては2名配置している。</p> <p>◆英語外部検定試験は令和4年1月に実施予定である。実施後は、結果分析をもとに授業改善、個に応じた指導に活用をしていく。</p> <p>◆関西外国語大学と連携した枚方英語村の開催については、新型コロナウイルス感染症感染拡大状況を踏まえながら、実施の可否及び手法等の検討を進めている。</p>			
指標の説明		年度	R1年度	R2年度	R3年度	
(実績値の内容) アンケート調査において、「英語の授業が楽しい」と答えた児童(小学校第3学年～第6学年)及び生徒(中学校第1学年～第3学年)の割合		実績値 (%)	休業措置により 調査不能	小:89.84 中:83.33	調査未実施 (9月30日現在)	
(目標値の根拠) 児童(小)の満足度90%以上 生徒(中)の満足度85%以上		目標値 (%)	小:90.00 中:85.00	小:90.00 中:85.00	小:90.00 中:85.00	
指標のめざすべき方向		↑	達成度 (%)	休業措置により 調査不能	小:99.82 中:98.03	調査未実施 (9月30日現在)
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			達成度	
	市長公約	平成30年度・令和2・3年度市政運営方針、令和元年度所信表明				
	実行計画	平成30年度当初実行計画			達成度の 推移	
	関連計画	—				

1-⑦	読書活動推進事業	担当課	学校教育室 (教育指導担当)	事業費計 予算額 (千円) ※人件費を含む	60,702
概要			進捗状況(令和3年9月30日現在)		
<p>◆児童・生徒の言語能力を育むため、全中学校区に配置した学校司書と司書教諭が連携して、義務教育9年間を見通した読書活動の充実を図る。</p> <p>◆市立図書館と連携した学校図書館の環境整備、児童・生徒の読書習慣の確立、調べ学習等授業における学校図書館の活用を推進する。</p>			<p>◆義務教育9年間を見通した読書活動の充実を図るため、全小・中学校で学校図書館の運営方針及び年間計画を作成し、取組みを進めている。</p> <p>◆児童・生徒の読書習慣の確立に向けて、朝読(小37校、中17校)や読み聞かせ(小40校、中1校)、ビブリオバトル(小2校、中8校)等の読書活動を実施している。授業において学校図書館を活用している小学校は43校、中学校は19校である。</p>		
指標の説明		年度	R1年度	R2年度	R3年度
(実績値の内容) 全国学力・学習状況調査の質問紙調査において学校の授業時間以外に読書を「10分以上」する児童・生徒の割合		実績値 (%)	小:63.60 中:42.80	全国学力・学習状況調査中止のため 実績なし	小:55.6 中:41.2
(目標値の根拠) 対前年度5ポイント向上		目標値 (%)	小:64.90 中:52.30	小:68.60 中:47.80	小:68.60 中:47.80
指標のめざすべき方向		↑	達成度 (%)	全国学力・学習状況調査中止のため 測定不能	小:81.05 中:86.19

関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	達成度	/
	市長公約	平成28・29・30年度・令和3年度市政運営方針、令和元年度所信表明		
	実行計画	平成26年度当初実行計画	達成度の推移	
	関連計画	—		

1-⑧	進路指導等事務	担当課 教育支援室 (児童生徒支援担当)	事業費計 予算額 (千円) ※人件費は除く	2,708	
概要		進捗状況 (令和3年9月30日現在)			
<p>◆進学意欲を有しながら、経済的な理由により就学が困難な支援を要する生徒や保護者等に対して、進路選択支援事業を特定非営利活動法人枚方人権まちづくり協会に委託し、奨学金等に関する相談や情報提供を実施する。</p> <p>◆教育活動全体を通して学ぶことの意義や働くことの意義を理解し、生徒が主体的に進路を選択決定する態度や意思、意欲などを培うキャリア教育を系統的に実施する。</p>		<p>◆委託している特定非営利活動法人枚方人権まちづくり協会が奨学金等に関する相談や情報提供を行っていることを各中学校に周知案内した。例年、保護者等を対象に開催している奨学金制度に係る説明会については、令和2年度と同様、集合しての開催は中止したが、令和3年度は動画配信により実施した。</p> <p>◆令和2年度から導入したキャリア・パスポートを活用したキャリア教育を全小中学校において実施している。</p>			
指標の説明		年度	R1年度	R2年度	R3年度
(実績値の内容) 教育活動全体を通してキャリア教育を実施し、キャリア・パスポートを作成した児童・生徒の割合 (パスポート作成児童・生徒数 / 5月1日現在全児童・生徒数)		実績値 (%)	—	100 (30,822/30,822)	100 (30,388/30,388)
(目標値の根拠) 児童・生徒全員のキャリア・パスポートを取得すること。		目標値 (%)	—	100	100
指標のめざすべき方向		↑	達成度 (%)	—	100
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	達成度	/	
	市長公約	—			
	実行計画	—	達成度の推移		
	関連計画	—			

1-⑨	学力向上推進事業(放課後自習教室事業)	担当課	学校教育室 (教育指導担当)	事業費計 予算額 (千円) ※人件費は除く	58,527
概 要			進捗状況(令和3年9月30日現在)		
◆児童・生徒の学習意欲を高め、自学自習力を育むとともに、新学習指導要領で求められている資質・能力の育成を図るため、授業・課業時間外・家庭学習で学習ができる環境を整備し、学力向上の取組みを推進する。また、放課後自習教室の開室方法及び児童・生徒の学習補助をする「やる気リーダー」の配置を見直し、民間のノウハウを生かした学習教室を実施し、児童・生徒の学習支援を行う。			◆児童・生徒一人ひとりの理解度に応じて学習ができる学習コンテンツを活用しながら、授業・課業時間外・家庭学習における学習機会の充実を図っている。 ◆令和元年度から民間事業者に事業委託をしており、今年度は5月から全小学校では放課後自習教室、中学校では学習教室ひらスタを開室している。8月には中学3年生を対象にした夏季集中学習教室を開催し、参加児童・生徒の学習意欲の向上や基礎学力の定着などの学習支援を図った。		
指標の説明		年度	R1年度	R2年度	R3年度
(実績値の内容) 放課後自習教室の実施回数(夏季集中学習教室を除く。)		実績値 (回)	4,239	1,593	550
(目標値の根拠) 【R1年度】年間80日(小45校) 27日(中19校)開室 【R2年度】年間24日(小45校) 27日(中19校)開室		目標値 (回)	4,113	1,593	1,593
指標のめざすべき方向		↑	達成度 (%)	103.06	100.00
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			達成度
	市長公約	平成28年度市政運営方針			
	実行計画	平成28年度当初実行計画			達成度の 推移
	関連計画	—			

基本方策2 豊かな心と健やかな体を育む教育の充実

近年、子どものコミュニケーション能力や社会適応能力、体力・運動能力の低下が課題となっており、子どもの豊かな人間性や社会性、健やかな体が育まれる環境づくりが求められています。

自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てます。一人ひとりの個性や価値観、多様化する人権課題を身近に感じ、考える機会をつくることで、すべての人の人権を尊重し、自他の生命を大切にすることを養います^①。また、多様な文化を認め合い、人類普遍の理念である平和の持つ意義を学ぶとともに、国際社会に貢献する資質や態度を身につけられる教育を進めます。

外国籍であったり、長く外国で居住していたなどの理由で、日本と異なる言語・文化・習慣で育った子ども等に対し、日本語習得のための機会の提供や相談支援などを進めることで、多文化共生の推進に取り組みます^{②③}。

小・中学校期は健全な身体の育成に重要な時期であることから、大学との連携による効果的な体育科の授業実践や民間活力を活用した水泳指導などに取り組むとともに、中学校部活動については、引き続き専門的なスキルを持つ外部人材を活用し、充実していきます^{④⑤⑥}。

また、生活習慣の未確立やアレルギー疾患の増加等、子どもの健康に関する課題が多様化していることを踏まえ、健全な食生活の形成のための食育の推進^{⑦⑧}や、食物アレルギーへの対応など、安全で安心な学校給食を提供し^⑨、健やかな体が育まれる環境づくりを推進します^{④⑩⑪}。中学校給食では、これまでの検証や課題整理を引き続き行いながら、全員給食の実施に向けた検討を進めます^⑫。

さらに、豊かな心と社会性を養うため、文化・芸術に親しむ機会¹³⁾や、自然を生かした野外活動などの体験活動を拡充します¹⁴⁾。

主要事業の状況

2-①	人権教育推進研究事業 (人権教育推進事業)	担当課	教育支援室 (児童生徒支援担当)	事業費計 予算額 (千円) ※人件費は除く	1,417
概 要		進捗状況 (令和3年9月30日現在)			
◆学校園が教育活動において人権教育を適切に位置づけ、校園長を中心とした組織的な指導に努め、人権教育をすすめるため、枚方市人権教育研究協議会において研究事業に取り組む。		◆小中学校における人権教育について、講演会や実践報告会、研究大会等、様々な研究を通して推進を図っている。 ・北河内地区人権教育研究学習会及び研究大会 (例年は年5回開催) (4月7日、6月20日、7月27日開催。1月19日、3月26日開催予定) ・大阪府人権教育夏季研究大会 (8月18日オンライン開催、8月19日書面開催) ・枚方市人権教育研究協議会講演会 (11月22日開催予定) ・大阪府人権教育研究 北河内大会 (10月22日～23日オンライン開催) ・実践報告会 (5月12日開催。2月9日開催予定) ・全国人権・同和教育研究大会 (1月8日開催予定) ・大阪府人権教育人権・部落問題学習研究集会 ◆令和3年度は、書面開催やオンライン開催など工夫した開催方法で様々な研究を推進している。			
指標の説明		年度	R1年度	R2年度	R3年度
(実績値の内容) 大阪府人権教育研究協議会等による人権教育推進のための教職員研修会等への参加人数		実績値 (人)	577	549	0
(目標値の根拠) 前年度実績		目標値 (人)	562	577	549
指標のめざすべき方向	↑	達成度 (%)	102.67	95.15	0.00
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			達成度
	市長公約	—			
	実行計画	—			達成度の推移
	関連計画	—			

2-②	多文化共生教育研究事業【再掲】※基本方策1に記載	担当課	教育支援室 (児童生徒支援担当)
-----	--------------------------	-----	---------------------

2-③	帰国児童等に対する教育指導員派遣事業		担当課	教育支援室 (児童生徒支援担当)	事業費計 予算額 (千円) ※人件費は除く	7,680
概要			進捗状況(令和3年9月30日現在)			
◆日本語の理解が困難な帰国児童等に対して、日本語及び教科の学習の支援、学校生活における相談等を行う教育指導員を派遣し、当該児童等の孤立感の解消や学校生活への適応の促進に努めることにより、当該児童等に対する教育の充実を図る。			◆日本語指導の必要な帰国・渡日外国人児童・生徒を対象に教育指導員を週1回2時間、もしくは週2回4時間派遣している。 ◆対象言語 中国語、タガログ語、シンハラ語、ポルトガル語、モンゴル語、韓国・朝鮮語、ベトナム語、ウルドゥー語、広東語、ドイツ語、スペイン語の11言語 ◆令和3年9月30日現在の対象児童・生徒は21人。			
指標の説明		年度	R1年度	R2年度	R3年度	
(実績値の内容) 帰国児童等が対応を必要とする言語数に対して教育指導員が対応可能な言語数の割合 (対応可能な言語数/対応を必要とする言語数)		実績値 (%)	100.00 (11/11)	100.00 (9/9)	100.00 (11/11)	
(目標値の根拠) 帰国児童等が対応を必要とする言語数に対する教育指導員が対応可能な言語数の割合が100% ※R2年度より指標を変更 R1年度の実績値は参考として記載		目標値 (%)	—	100.00	100.00	
指標のめざすべき方向		↑	達成度 (%)	—	100.00	100.00
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			達成度	
	市長公約	—			達成度の推移	
	実行計画	—				
	関連計画	—				

2-④	小中一貫教育推進事業【再掲】※基本方策1に記載		担当課	学校教育室 (教職員担当) (教育指導担当)
-----	-------------------------	--	-----	------------------------------

2-⑤	学校水泳授業民間活用事業	担当課	新しい学校推進室 学校教育室 (教育指導担当) 施設整備室	事業費計 予算額 (千円) ※人件費は除く	1,500
概要		進捗状況(令和3年9月30日現在)			
<p>◆児童の泳力向上、水泳授業における教員への支援と指導の充実及び老朽化する学校プールの維持管理、改修費用の縮減を目的に、民間施設を活用して、学校水泳授業を実施する。</p> <p>◆令和3年度は、モデルとして山田小学校において、水泳授業を民間事業者へ委託する。(授業は、事業者が配置する専門スタッフと教員が共同で行う予定。)</p> <p>◆令和3年7月までに山田小学校でのモデル事業を終え、効果検証を行った上で、次年度以降については、民間施設の活用、公設民営施設の新設、屋外プールの改修等、今後の学校プールのあり方について検討する。</p>		<p>◆当初は、9月までに山田小学校でのモデル事業を完了する予定であったが、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響による数次の延期の結果、事業を実施することが困難となったため、令和3年度は、モデル事業を実施しないこととした。</p> <p>◆令和4年度以降、段階的に事業を実施するため、学校・民間事業者との調整を進めるとともに、引き続き、他市の先行事例の調査等に取り組んでいる。</p>			
指標の説明		年度	R1年度	R2年度	R3年度
(実績値の内容) 水泳授業の委託を行った学校の数		実績値 (校)	—	—	0
(目標値の根拠) 段階的に小学校の水泳授業の委託を実施する。 【R3年度】 1校		目標値 (校)	—	—	1
指標のめざすべき方向		↑	達成度 (%)	—	—
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			達成度
	市長公約	令和2・3年度市政運営方針			
	実行計画	令和3年度当初実行計画			達成度の推移
	関連計画	—			

2-⑥	部活動指導協力者派遣事業		担当課	学校教育室 (教育指導担当)	事業費計 予算額 (千円) ※人件費は除く	13,679
概要			進捗状況 (令和3年9月30日現在)			
◆部活動の活性化と充実を図るとともに、顧問教員の時間的余裕を生み生徒指導や授業研究の時間を確保するため、各中学校に専門的な知識や技能を有する部活動指導協力者を派遣する。			◆新型コロナウイルス感染症の影響により休校している学校や活動の制限などがあったが専門的な知識や技能を有する部活動指導協力者を派遣し、部活動の充実と顧問教員の時間的余裕の確保を図っている。 派遣中学校数：19校 部活動指導協力者：132人			
指標の説明		年度	R1年度	R2年度	R3年度	
(実績値の内容) 中学校部活動指導協力者の派遣回数		実績値 (回)	5029.5	4,491.5	2,059.5	
(目標値の根拠) 派遣回数の上限 ※R2年度より、過去の派遣回数を踏まえ目標値を変更		目標値 (回)	7,030	5,320	5,354	
指標のめざすべき方向		↑	達成度 (%)	71.54	84.43	38.47
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			達成度	/
	市長公約	平成28・30年度市政運営方針				
	実行計画	平成28年度当初実行計画			達成度の推移	
	関連計画	—				

2-⑦	学校支援社会人等指導者活用事業		担当課	学校教育室 (教育指導担当) 公立保育幼稚園課	事業費計 予算額 (千円) ※人件費は除く	3,921
概要			進捗状況 (令和3年9月30日現在)			
◆各教科の指導補助、総合的な学習の時間、特別活動など優れた知識や技能を有する多様な人材を学校教育に活用することで学校での教育活動の活性化を図る。			◆小・中学校においては、各教科における学習支援(総合的な学習の時間や外国語等)や読み聞かせ、菊の栽培、放課後学習の支援を実施し、教育活動の活性化を図っている。 学校支援社会人等指導者登録者数：178人 ◆幼稚園においては、緊急事態宣言が発出されていたため、菊の栽培支援のみ実施した。今年度中には、サッカー指導、お話しやわらべ歌遊びの会などを実施する予定である。			
指標の説明		年度	R1年度	R2年度	R3年度	
(実績値の内容) 学校支援社会人等指導者を活用した回数		実績値 (回)	1,696	1,073.5	492.5	
(目標値の根拠) 活用回数の上限 (1校園あたり約22回)		目標値 (回)	2,009	1,844	1,761	
指標のめざすべき方向		↑	達成度 (%)	84.42	58.22	27.97
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			達成度	/
	市長公約	—				
	実行計画	—			達成度の推移	
	関連計画	—				

2-⑧	学校給食事業		担当課	おいしい給食課	事業費計 予算額 (千円) ※人件費は除く	785,494
概要			進捗状況 (令和3年9月30日現在)			
<p>◆全小学校の児童を対象に、2箇所センター方式の共同調理場、5箇所の親子方式共同調理及び22箇所の単独調理場において調理、配送、食器・食缶等の洗浄、物資搬入管理、衛生・安全管理等の業務を直営または委託で実施するとともに、米飯の炊飯や配膳、検便等の業務について業務委託により実施する。</p> <p>◆全中学校の生徒を対象に、第一学校給食共同調理場において調理、配送、食器・食缶等の洗浄、物資搬入管理、衛生・安全管理等の業務を委託で実施するとともに、米飯の炊飯や配膳、検便、施設の機械警備等の業務について業務委託により実施する。</p> <p>◆中学校給食は、平成28年度から選択制ランチボックス方式により希望する生徒への提供を行っている。</p>			<p>◆児童・生徒の身体の健全な発達に資するため、共同調理場及び単独調理場で、安全で栄養バランスのとれたおいしい学校給食を確実に児童・生徒へ提供を行っている。</p> <p>◆新型コロナウイルス感染症による学校臨時休業や出席停止等については、学校や関係部署と連携を図りながら、状況に応じた対応を行っている。</p>			
指標の説明			年度	R1年度	R2年度	R3年度
(実績値の内容) 小・中学校給食提供食数			実績値 (食)	小：3,995,397 中：550,795	小：3,826,491 中：571,852	小：1,951,050 中：314,839
(目標値の根拠) 年間の給食提供食数。			目標値 (食)	小：3,995,397 中：550,795	小：3,826,491 中：571,852	小：1,951,050 中：314,839
【小学校】 給食提供食数/調理食数			達成度 (%)	小：100.00 中：100.00	小：100.00 中：100.00	小：100.00 中：100.00
【中学校】 給食提供食数/調理食数						
指標のめざすべき方向		↑				
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	達成度	/		
	市長公約	—				
	実行計画	—	達成度の推移			
	関連計画	—				

2-⑨	学校給食における地元農産物利用促進事業		担当課	おいしい給食課	事業費計 予算額 (千円) ※人件費は除く	—
概要			進捗状況(令和3年9月30日現在)			
◆安全・安心でおいしい学校給食の提供のため、小学校給食用食材として大阪府内産を含めた地元農作物の利用促進を図り、第3次枚方市食育推進計画の目標である「米・野菜類全体購入量に対する枚方産及び府内産購入量の割合を(重量ベース)38%」の達成に向け、取組みを進める。			◆野菜類については、枚方産・府内産合わせて8品目で26.3トン、うち枚方産は6品目14.2トン(玉ねぎ、じゃがいも、かぼちゃ、なす、さつまいも、黒米)を使用した。また、米については、北河内産米を含む大阪産「ヒノヒカリ」「にこまる」を92.0トン使用した。以上の結果、令和3年4月～令和3年9月の枚方産及び府内産購入量の割合は30.8%となっている。			
指標の説明		年度	R1年度	R2年度	R3年度	
(実績値の内容) 地元農産物の割合		実績値 (%)	28.20	33.30	30.80	
(目標値の根拠) 第3次枚方市食育推進計画の目標		目標値 (%)	38.00	38.00	38.00	
指標のめざすべき方向		↑	達成度 (%)	74.21	87.63	81.05
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			達成度	/
	市長公約	—				
	実行計画	—				
	関連計画	第3次枚方市食育推進計画			達成度の推移	

2-⑩	食物アレルギー対応推進事業		担当課	おいしい給食課	事業費計 予算額 (千円) ※人件費は除く	—
概要			進捗状況(令和3年9月30日現在)			
◆食物アレルギー対応の適切かつ的確な取組みを進める。 ◆学校給食における食物アレルギー対応上の事故(救急搬送)件数(新規発症を除く)が0件となるよう、より一層の安全を確保する。 ◆中学校給食において、7大アレルゲンを使用しない代替食の提供を毎日行う。			◆学校給食においては、「学校園におけるアレルギー疾患対応の手引き」に基づき市内統一の食物アレルギー対応を実施している。 ◆中学校給食において、毎日7大アレルゲンを使用しない給食の提供を行い、小学校給食においては、卵・乳・エビの除去食対応を行っている。 ◆ヒヤリハット・事故報告の蓄積を行い、教育委員会内での情報共有を行っている。			
指標の説明		年度	R1年度	R2年度	R3年度	
(実績値の内容) アレルギー対応をしている児童における事故(救急搬送)件数		実績値 (件)	0	0	0	
(目標値の根拠) アレルギー対応をしている児童における事故(救急搬送)がないこと。		目標値 (件)	0	0	0	
指標のめざすべき方向		↓	達成度 (%)	100.00	100.00	100.00
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			達成度	/
	市長公約	—				
	実行計画	平成28年度当初実行計画				
	関連計画	—			達成度の推移	

2-⑪	学校健康管理事業		担当課	教育支援室 (学校支援担当)	事業費計 予算額 (千円) ※人件費は除く	6,582
概要			進捗状況(令和3年9月30日現在)			
◆学校園医(内科医、眼科医、耳鼻科医)、学校園歯科医、学校薬剤師、結核検診医、心臓検診医、腎臓検診医、歯科衛生士による小学校45校、中学校19校での内科、眼科、耳鼻科、歯科健康診断などの健康診断、健康相談、臨時健康相談、感染流行時の指導、学校環境衛生の維持管理及びブラッシング指導を実施する。			◆小中学校を対象に、内科・歯科・眼科検診を、小学校第1・3学年及び中学校第1学年を対象に耳鼻科検診を学校医で行った。 ◆学校薬剤師による空気、飲料水、プール水質(中学校部活動校のみ)、照度の検査等を行っている。 ◆歯科衛生士によるブラッシング指導を各小学校で学年を決めて秋冬に38校で行う予定である。 ◆健康相談は、専門的な観点、立場から学校及び児童・生徒の支援を行っている。			
指標の説明			年度	R1年度	R2年度	R3年度
(実績値の内容) 学校内科医1人あたりの児童・生徒数			実績値 (人)	309	305	319
(目標値の根拠) 「枚方市立学校園の学校園医の委嘱等に関する要綱」を基に算出			目標値 (人)	330	330	330
指標のめざすべき方向		↓	達成度 (%)	106.36	107.58	103.33
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			達成度	/
	市長公約	—				
	実行計画	平成28年度当初実行計画			達成度の推移	
	関連計画	—				

2-⑫	健康診断事業	担当課	教育支援室 (学校支援担当)	事業費計 予算額 (千円) ※人件費は除く	30,275
概要			進捗状況 (令和3年9月30日現在)		
◆全学校園において学校保健安全法に基づく健康診断を実施する。			◆全児童・生徒対象に、結核検診、内科検診、運動器検診、眼科検診、尿検査を実施し、歯科健康診断が実施中である。 ◆小学校第1学年及び中学校第1学年対象に、心臓検診を実施した。 ◆小学校第1・3学年及び中学校第1学年対象に、耳鼻科検診を実施した。 ◆小学校第5学年及び中学校第1学年の希望者対象に、モアレ撮影検査を実施中である。 ◆総受診者数：30,271人、総対象者数：30,409人		
指標の説明		年度	R1年度	R2年度	R3年度
(実績値の内容) 健康診断受診率 定期健康診断の受診率 (受診者数/対象者数×100)		実績値 (%)	99.71	99.92	99.55
(目標値の根拠) 対象者全員		目標値 (%)	100.00	100.00	100.00
指標のめざすべき方向	↑	達成度 (%)	99.71	99.92	99.55
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	達成度		/
	市長公約	—	達成度の推移		
	実行計画	平成28年度当初実行計画			
	関連計画	—			

2-⑬	中学校給食充実事業		担当課	おいしい給食課	事業費計 予算額 (千円) ※人件費は除く	4,535
概要			進捗状況(令和3年9月30日現在)			
◆選択制の中学校給食について、喫食率向上に向けた取組みを進める中で、生徒・保護者の意向も踏まえ、全員給食への拡充を目指す。			◆選択制の中学校給食については、生徒が主食の量を選択できるシステムの導入や給食費の自動口座振替を開始し利便性を向上するなど、喫食率向上に向けた取組みを進めている。 ◆中学校給食の今後のあり方を検討するにあたり、有識者・P T A・学校関係者等で構成する意見聴取会を設置した。生徒にとって相応しい持続可能な方針の策定に向け取り組んでいく。 ◆新型コロナウイルス感染症による学校臨時休業や出席停止等については、学校や関係部署と連携を図りながら、状況に応じた対応を行っている。			
指標の説明		年度	R 1 年度	R 2 年度	R 3 年度	
(実績値の内容) 中学校給食の喫食率		実績値 (%)	33.50	33.80	35.10	
(目標値の根拠) 中学校給食の各年度目標喫食率		目標値 (%)	50.00	50.00	50.00	
指標のめざすべき方向		↑	達成度 (%)	67.00	67.60	70.20
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			達成度	/
	市長公約	平成29・30年度・令和2・3年度市政運営方針、令和元年度所信表明				
	実行計画	平成28年度当初実行計画			達成度 の推移	
	関連計画	—				

2-⑭ 文化財活用事業		担当課	文化財課	事業費計 予算額 (千円) ※人件費は除く	1,118	
概要			進捗状況(令和3年9月30日現在)			
<ul style="list-style-type: none"> ◆文化財説明板の新たな設置や古くなった説明板の建替 ◆文化財防火デー(市と枚方寝屋川消防組合が、文化財を所蔵する社寺等で消防訓練を実施) ◆歴史講座、歴史ウォーク(市内文化財めぐり等) ◆枚方・百済フェスティバル(古代の枚方と朝鮮半島の交流の歴史を伝えるイベント) ◆文化財の展示(輝きプラザきらら2階展示ルーム等で、発掘調査の出土遺物等を展示) ◆発掘調査現地説明会 ◆刊行物(文化財関係図書等)の発行など ◆出前講座 ◆古文書講座 			<ul style="list-style-type: none"> ◆文化財説明板の建替について、修繕候補の選定を終え実行予定である。 ◆文化財防火デーについて、例年通り1月に実施する予定で消防署等との協議を行う。 ◆民歴史講座「芋代官と楠葉村中井家」を開催し、年度内に今後3回開催予定である。教育政策課と連携した地域歴史講座を、枚方地区(旧枚方町地域)、川越地区(旧川越村地域)、枚方市東部地区(旧津田村・菅原村・氷室村地域)の3か所で開催し、他3か所を開催予定である。市内歴史ウォークは「歩いてみよう!枚方寺内と枚方宿」を開催予定である。 ◆枚方・百済フェスティバルはコロナウイルス感染症感染拡大防止対策のため中止となった。 ◆文化財の展示は、輝きプラザにて「発掘でわかった!枚方のむかしむかし展」を開催中である。総合文化芸術センターで文化財特別展「HIRATAKARA展」を開催中である。11月には枚方宿で暮らしに関連した民具や、弥生土器など各店舗で展示する「枚方宿まちかど歴史展示」を開催予定である。 ◆発掘調査現地説明会は対象となる調査が無かった。 ◆刊行物は文化財だよりを4月と7月に発行(10月、1月にも発行予定) ◆6月に予定していた市民向けの出前講座は、緊急事態宣言発出のため、中止となった。 ◆古文書講座を10~11月に中央図書館で実施予定である。 			
指標の説明		年度	R1年度	R2年度	R3年度	
(実績値の内容) 歴史関連イベントの参加者数		実績値 (人)	810	281	47	
(目標値の根拠) 過去のイベントの参加者数の平均値を目標値とする。(事業統合により、令和2年度から古文書講座・楠葉台場跡の活用事業を加えた)。		目標値 (人)	1,200	1,280	1,162	
指標のめざすべき方向		↑	達成度 (%)	67.50	21.95	4.04
関連計画	第5次総合計画	基本目標 地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち 施策目標19 地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち			達成度	/
	市長公約	—			達成度の推移	
	実行計画	—				
	関連計画	—				

2-⑮	野外活動センター利用促進事業	担当課	スポーツ振興課	事業費計 予算額 (千円) ※人件費は除く	3,750
概要		進捗状況（令和3年9月30日現在）			
◆野外活動センターの利用増を目指し、学校キャンプ（日帰り・宿泊）を実施しやすくするため、企画段階からサポートを行い、学校ニーズに対応した学校キャンプの促進を図る「学校キャンプ支援事業」を実施する。（平成26年度は試行。平成27年度から本格実施。）		◆6月21日に施設利用が再開され、4校の利用があった。 ◆新型コロナウイルス感染症の感染者数の減少等に伴い、10月以降は、23校が施設の利用を予定または検討している。			
指標の説明		年度	R1年度	R2年度	R3年度
（実績値の内容） 市内小学校のキャンプ利用件数		実績値 (件)	15	17	4
（目標値の根拠） 昨年度目標値又は直近3年実績値の平均のどちらが多いか		目標値 (件)	25	25	25
指標のめざすべき方向		↑	達成度 (%)	60.00	68.00
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標17 誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち			達成度
	市長公約	平成29・30年度市政運営方針			
	実行計画	平成28年度当初実行計画			達成度の推移
	関連計画	—			

基本方策3 教職員の資質と指導力の向上

本市においては新規採用教職員が増加し、経験豊かな多くの教職員の退職が続く中、教職員の世代交代が進んでおり、倫理観・規範意識及び子ども理解と集団づくり、授業力やマネジメント力等、教職員一人ひとりの資質と指導力の向上が求められています。

平成26年度からの中核市移行に伴い、大阪府から教職員研修の権限が移譲されました。そのため、『学び続ける教職員』を育成し、枚方の子どもたちの『生きる力』をはぐくむをテーマに、本市の教育課題に即した独自のカリキュラム（指導計画）で教職員研修を実施し^①、「経験年数の少ない教職員の育成」「管理職及び専門性を備えたリーダーの養成」「主体的・対話的で深い学びのある授業づくり・授業改善への支援」を重点項目とした教職員研修の充実を図り、明日の枚方の教育を担う教職員を育成します^①。

また、教育的愛情にあふれ、高い意欲と優れた指導力を有する教職員を育成するため、授業の達人・授業マイスターによる研究授業等により、授業改善につなげること^②で、子どもたちの「確かな学力」と「生きる力」を育みます。このため、教育委員会の学校支援機能を充実させる^③とともに、学校教育の水準の維持・向上に資するため、業務量を適切に管理することで、教職員の働き方を見直し、教職員が子どもたちと向き合う時間を確保します。

さらに、新学習指導要領の趣旨を踏まえ、「主体的・対話的で深い学び」のための授業改善や、「カリキュラム・マネジメント」等の組織運営改善に係る教育課題に対応した研修^①のほか、情報活用能力の育成のため、ICT活用のねらいを明確にした教職員のICT活用能力の向上に係る研修にも取り組みます^①。

主要事業の状況

3-①	枚方市教職員育成事業		担当課	学校教育室 (教育研修担当)	事業費計 予算額 (千円) ※人件費は除く	4,604
概要			進捗状況 (令和3年9月30日現在)			
<p>◆平成26年度からの中核市移行により、従来大阪府教育委員会が実施してきた府費負担教職員研修の初任者研修や10年経験者研修等の法定研修をはじめとする各種研修の多くを本市教育委員会が実施。</p> <p>◆『学び続ける教職員』を育成し、枚方の子どもたちの『生きる力』をはぐくむことを目標に、「キャリアステージに応じて学び続ける教職員の育成」「主体的・対話的で深い学びの実現に向け、『Hirakata授業スタンダード』に基づいた授業改善(第2ステージ)」「子ども理解を基盤とした学校経営や学級経営、授業研究・研修への支援の充実」の3点を重点項目とし、「基本研修」及び「専門研修」を計画・実施。</p> <p>◆新学習指導要領を踏まえた授業づくり、授業改善及び教員の授業力の向上等に向け、指導主事や教育推進プランナー(学校教育に関して高い見識や経験を有する校長経験者等)が学校園を訪問し、経験の浅い教員への指導助言、校内研修等での指導助言、学校運営への支援を実施。</p> <p>◆枚方市が取り組んでいる「教育」を広く市民に情報発信するとともに、今後の枚方の「教育」の方向性について市民と共有する場として「枚方市教育フォーラム」を実施。</p> <p>◆新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響を受け、国が推進するGIGAスクール構想が前倒しとなったことに伴い、各校の代表者や指導主事等で構成する情報教育推進ワーキングチームを中心に、ICT機器の効果的な活用をめざした取組みを実施。</p>			<p>◆令和3年度は、令和2年度に引き続き、『学び続ける教職員』を育成し、枚方の子どもたちの『生きる力』をはぐくむ』をテーマに、①キャリアステージに応じて学び続ける教職員の育成、②「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、「Hirakata 授業スタンダード」に基づいた授業改善(第2ステージ)、③子ども理解を基盤とした学校経営や学級経営、授業研究・研修への支援の充実の3項目に加え、今年度より新たに ④GIGAスクール構想に基づくICT機器を効果的に活用した授業改善を重点項目として追加し、本市の教育課題に応じた独自のカリキュラムのもと、初任者研修や10年経験者研修をはじめ、教職員の経験・職務に応じたキャリアステージ研修、教育課題や教科等の専門性を高めるアドバンス研修及び専門的な職務を担う教職員の知識・技能の習得と情報活用能力の向上を図るエキスパート研修を実施し、教職員の資質・指導力の向上を図っている。</p> <p>◆本年度は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から、7月末までの全研修の実施形態を「事前収録した動画配信による研修」「双方オンラインシステムを活用した研修」として実施するよう計画し、これまでに108回の研修を実施した。</p> <p>◆また、教育推進プランナーを中心にした経験年数の少ない教員の育成及び学校園運営の支援、校内研究・校内研修の支援等として255回訪問を実施した。</p> <p>◆情報教育ワーキングチームの活動としては、コア会議を4回、ジェネラル会議を2回、各ユニットによる会議を計23回開催し、活動報告等の情報共有を行った。</p>			
指標の説明			年度	R1年度	R2年度	R3年度
(実績値の内容) 受講後のアンケートにおいて、その研修内容について、各学校園の会議等で実効的な伝達や授業等で効果的な実践をしたと回答した割合			実績値 (%)	95.30	92.45	94.50
(目標値の根拠) 研修の実質的効果			目標値 (%)	100.00	100.00	100.00
指標のめざすべき方向		↑	達成度 (%)	95.30	92.45	94.50
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			達成度	/
	市長公約	平成29年度市政運営方針				
	実行計画	平成28年度当初実行計画			達成度の推移	
	関連計画	—				

3-②	授業の達人養成・教科研究事業		担当課 学校教育室 (教育研修担当)	事業費計 予算額 (千円) ※人件費は除く	300
概要			進捗状況 (令和3年9月30日現在)		
<p>◆児童・生徒の確かな学力を育むため、高い指導力のある優れた教員の育成を図ることを目的とした「授業の達人養成講座」を実施。</p> <p>○授業の達人養成講座 (※段階的に『達人』に認定するシステムを構築する)</p> <p>◆外部講師として年間を通じて大学教授等、教育のスペシャリストを招聘。</p> <p>◆教材研究、学習指導案の検討を行い、年間2回の研究授業 (公開授業) を実施。</p> <p>◆先進地域、先進校への視察を実施。</p>			<p>◆豊かな人間性と高い専門性を有する優れた教員 (「授業の達人」) を養成することを目標に、授業の達人養成講座を実施している。</p> <p>◆令和3年度は、2年継続研修の2年次として、『授業の達人養成講座』を年間12回実施予定としており、現在まで予定通り実施できている。</p> <p>◆研修講座では、専門的な知識を有する外部講師を招いての講義・演習を通して、新学習指導要領に示されている資質・能力を育むための授業実践等についての理解を深めるとともに、受講者相互の実践交流を通して、自身の実践に生かすようにしている。また、受講者の授業を指導主事が参観し指導することで、実践的な指導力を高めている。</p>		
指標の説明		年度	R1年度	R2年度	R3年度
(実績値の内容) 「授業の達人養成講座」の受講者の①理解度②満足度		実績値 (%)	①理解度 97.00 ②満足度 96.90	①理解度 98.20 ②満足度 96.40	①理解度 100.00 ②満足度 96.78
(目標値の根拠) 「授業の達人養成講座」の受講者の理解度と満足度		目標値 (%)	100.00	100.00	100.00
指標のめざすべき方向		↑	達成度 (%)	①理解度 98.20 ②満足度 96.40	①理解度 100.00 ②満足度 96.78
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			達成度
	市長公約	—			
	実行計画	平成28年度当初実行計画			達成度の推移
	関連計画	—			
3-③	学校園活性化事業【再掲】※基本方策1に記載		担当課	学校教育室 (教育指導担当) 公立保育幼稚園課	

基本方策4 「ともに学び、ともに育つ」教育の充実

障害のある子どもをはじめ、すべての子どもたちが学校・地域社会の中で積極的に交流・活動し、「ともに学び、ともに育つ」という観点から、障害への理解の促進や、ともに育ちあう集団づくり等を踏まえた教育を推進する必要があります。また、支援教育を進めるにあたっては、一人ひとりの自立に向けた効果的な指導・支援の充実が求められています。

障害のある子どもと障害のない子どもが交流や共同学習を通じ、ともに学び、互いを理解する教育を一層充実させる^①とともに、通常の学級においてユニバーサルデザインによる授業づくりに取り組みます^①。

障害のある子どもや、配慮を要する子どもに対する支援ツールとして、タブレット端末等のICTを活用するとともに、タブレット端末の入出力が困難な場合にも対応できるよう、音声文字変換や視線入力システム等の入出力支援装置の整備を進めます^①。

また、平成28年4月施行の「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」を踏まえ、障害のある子ども一人ひとりのニーズに応じた教育環境の整備を進める^{①②④}とともに、支援教育に関する教職員研

修の充実に取り組みます^③。

さらに、配慮を要する子どもについて、支援教育コーディネーターを中心として、より具体的な個別の教育支援計画の作成・見直しを行う^{①②④}とともに、保護者、支援学校等の関係機関と連携し、支援が必要なすべての子どもについて全教職員の共通理解のもと、学校全体で支援教育の充実に取り組みます^{①②④}。

主要事業の状況

4-①	支援教育推進事業	担当課	教育支援室 (児童生徒支援担当)	事業費計 予算額 (千円) ※人件費は除く	240,120
概要		進捗状況 (令和3年9月30日現在)			
<ul style="list-style-type: none"> ◆通常の学級に在籍する発達障害等の児童・生徒への支援に関し、学校に専門家を派遣し指導・助言する。 ◆教育支援室職員が、学校園、保育所(園)、幼稚園、医療機関等を巡回し、就学相談を実施する。 ◆小中学校の支援教育推進の中心となる支援教育コーディネーターの活動を支援するために、非常勤講師を加配する。 ◆肢体不自由児介助員を配置し、小中学校の肢体不自由学級に在籍する児童・生徒の生活、訓練、学習等の介助を行う。 ◆学校看護師を配置し、医療的ケアを必要とする幼児・児童・生徒の学校園における日常生活を支援する。 ◆肢体不自由児童・生徒に対し理学療法士による専門的な機能回復訓練を実施する。併せて支援学級担任に対して日常訓練の指導・助言を行う。 ◆支援学級入級児童・生徒に対する備品購入及び新設支援学級の設備整備を行う。 		<ul style="list-style-type: none"> ◆通常の学級に在籍する発達障害等の児童・生徒への支援に関し、氷室小、磯島小、中宮中、東香里中学校に専門家を派遣し指導・助言を行っている。 (派遣回数：9回) ◆教育支援室職員が、学校園、保育所(園)、幼稚園、医療機関等を巡回し、就学相談を実施している。 ◆小中学校の支援教育推進の中心となる支援教育コーディネーターの活動を支援するために、非常勤講師を加配している。 (支援教育コーディネーター配置校：64校) ◆肢体不自由児介助員を25人配置し、小中学校の肢体不自由学級に在籍する児童・生徒の生活、訓練、学習等の介助を行っている。 ◆学校看護師33人(うち2名事務局)配置し、医療的ケアを必要とする児童・生徒の学校園における日常生活を支援している。 ◆肢体不自由児童・生徒に対し理学療法士による専門的な機能回復訓練を実施する。併せて支援学級担任に対して日常訓練の指導・助言を行っている。 (実施回数：小学校27回、中学校8回) ◆支援学級入級児童・生徒に対する備品購入及び令和3年度に新設した支援学級の設備整備を行っている。 			
指標の説明		年度	R1年度	R2年度	R3年度
(実績値の内容) 支援教育に関する専門的な知識・技能をもつ専門家の派遣回数		実績値 (回)	479	107	71
(目標値の根拠) 小・中学校専門家、幼稚園巡回相談(R1年度のみ数値に計上)、理学療法士等は予算範囲。リーディングチームは前年度実績の1割増。 (※令和2年度から、幼稚園巡回相談は、公立保育幼稚園課所管となるため、4-④幼児支援教育事業で報告)		目標値 (回)	468	166	104
指標のめざすべき方向	↑	達成度 (%)	102.35	64.46	68.27
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			達成度
	市長公約	平成29・30年度市政運営方針			
	実行計画	平成28年度当初実行計画			達成度の推移
	関連計画	—			

4-②	通学困難児童・生徒通学等タクシー支援事業		担当課	教育支援室 (児童生徒支援担当)	事業費計 予算額 (千円) ※人件費は除く	3,731
概要			進捗状況 (令和3年9月30日現在)			
<ul style="list-style-type: none"> ◆小中学校に在籍する肢体不自由児や腎炎・ネフローゼ児等通学が困難な児童・生徒のタクシー利用による通学費用に対して、支援金の交付を行う。 ◆市内に在住する支援学校等に在籍する通学が困難な児童・生徒のタクシー利用による通学費用に対して、支援金の交付を行う。 			<ul style="list-style-type: none"> ◆毎日利用の児童・生徒6人、雨天時利用の児童・生徒29人に対して、支援金を交付している。 			
指標の説明		年度	R1年度	R2年度	R3年度	
(実績値の内容) タクシーを利用した児童・生徒の人数		実績値 (人)	40	36	35	
(目標値の根拠) 年度当初の通学タクシー利用申請人数		目標値 (人)	30	31	29	
指標のめざすべき方向		↑	達成度 (%)	133.33	116.13	120.69
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			達成度	
	市長公約	—				
	実行計画	平成28年度当初実行計画			達成度の推移	
	関連計画	—				

4-③	枚方市教職員育成事業【再掲】※基本方策3に記載		担当課	学校教育室 (教育研修担当)
-----	-------------------------	--	-----	-------------------

4-④	幼児支援教育推進事業 (就学前支援教育推進事業)		担当課	公立保育幼稚園課	事業費計 予算額 (千円) ※人件費は除く	5,331
概要			進捗状況 (令和3年9月30日現在)			
<ul style="list-style-type: none"> ◆幼稚園巡回相談を実施し、発達障害等があり教育的支援を必要とする幼児への個に応じた指導について、専門的な知識・技能をもつ相談員を市立幼稚園及び市内の私立幼稚園・認定こども園に派遣する。相談員が教職員への指導・助言を行うとともに保護者からの教育相談に応じることにより、各園及び家庭との連携を通して、支援教育の一層の充実を図る。 ◆就学前の幼児を対象とした言語訓練指導(幼児ことばの教室)を実施し、吃音、構音障害など、主に言語面に課題がある5歳児を対象に、元小中学校通級指導教室担当の指導員が個別指導を行う。 ◆幼稚園に在籍する個別の支援や配慮を要する幼児への指導・支援に関し、特別支援加配員(旧:支援教育担当)及び生活支援員を配置する。また、医療的ケアを必要とする園児への日常生活の支援をする為、看護師を配置する。 			<ul style="list-style-type: none"> ◆発達障害等があり教育的支援を必要とする幼児や保護者に対して相談員を派遣するとともに、主に言語面に課題がある5歳児を対象とした言語訓練指導を実施している。 ◆市内の公私立幼稚園及び認定こども園に対し、相談員を派遣した回数:151回 ◆幼児ことばの教室の実施回数:98回 ◆支援等が必要な幼児に対し、支援教育担当職員及び生活支援員を配置するとともに、医療的ケアを必要とする幼児に対して日常生活を支援するための看護師を配置した。 ◆支援教育担当の配置状況:30名 生活支援員の配置状況:22名 医療的ケア看護師の配置状況:3名 			
指標の説明		年度	R1年度	R2年度	R3年度	
(実績値の内容) 保護者のニーズ(申し込み)に対する各支援事業の実施率		実績値 (%)	100.00	100.00	100.00	
(目標値の根拠) ニーズ(申し込み)に対する実施率100%		目標値 (%)	100.00	100.00	100.00	
指標のめざすべき方向		↑	達成度 (%)	100.00	100.00	100.00

関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	達成度	
	市長公約	—		
	実行計画	—	達成度の推移	
	関連計画	—		

基本方策5 幼児教育の充実

少子化の進行、核家族化や男女共同参画社会の進展、ひとり親家庭の増加等、子どもの育ちや子育て支援へのニーズが多様化する中で、子どもの生きる力と個性を育む環境が求められています。幼児期の教育は生涯にわたる人格形成の基礎を養う重要なものであり、様々な体験を通して幼児が心身ともに健やかな成長をとげられるよう、幼児一人ひとりの発達や特性に応じた取組を進める必要があります^①。

幼児教育の目的は「生涯にわたる人格形成の基礎を養う」ことであり、令和元年度から市立幼稚園で拡充した3歳児保育などに引き続き取り組みながら、「幼稚園教育要領」にある、自立心や協同性、道徳性などの「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を実現するため、幼児一人ひとりの望ましい発達を育むとともに、学級集団に応じた適切な指導を行います^{①②③}。また、幼児期（幼稚園・保育所（園）・認定こども園等）と児童期（小学校）の教育の円滑な接続・連携を図り、学びや発達の連続性を踏まえた取組を推進します^{①②}。

加えて、幼稚園の預かり保育については、実施時間の延長などの充実を図ってきており、今後も引き続き、保護者の心身のリフレッシュや就労等のニーズに対応できるよう取り組みます^{④⑤}。

また、地域の未就園児も含めた親子での遊びの場の提供や、保護者交流の場の提供、さらには子育て相談の取組を推進します^④。

主要事業の状況

5-①	幼児教育充実事業	担当課	公立保育幼稚園課	事業費計 予算額 (千円) ※人件費は除く	588
概要			進捗状況 (令和3年9月30日現在)		
◆幼児教育の充実を図ることを目的とし、小学校へのなめらかな接続をめざした幼小連携の推進や、幼児に豊かな心を育む多様な体験の機会の提供、また、地域の幼児教育のコーディネーター的な役割が果たせるよう、小学校・私立幼稚園・認定こども園・公私立保育所(園)等と連携を図るとともに、未就園児親子が参加できるイベントや子育て講座の開催、育児相談等に取り組む。			◆小学校の空き教室での給食体験や、校庭での散歩など、幼児が小学校生活に期待や親しみが持てるような活動を、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止に留意しながら実施した。 また、併せて幼小連携推進に関しての職員間での打ち合わせや幼小教職員の合同研修を実施した。 ◆各幼稚園にて見学会を実施し、市立幼稚園の施設や保育内容について周知できる機会をつくった。また、子育てに不安がある保護者からの育児相談に対して、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止に留意しながら個別に対応した。		
指標の説明		年度	R1年度	R2年度	R3年度
(実績値の内容) ①または②を達成した幼稚園の延べ園数 ①幼稚園児が小学校生活に親しみ、入学への期待が持てるような活動(学校見学・授業見学・児童との交流・給食体験など)を、年間を通して5回以上実施する ②幼稚園職員と小学校職員が、互いの教育内容や子どもの姿を理解し、教育課程を滑らかにつながるための合同研修や連携会議を、年間を通して2回以上開催する		実績値 (園)	—	6	0
(目標値の根拠) すべての市立幼稚園において①及び②を達成する(すべての市立幼稚園において①及び②を達成すれば、延べ園数は7園×2=14となる)		目標値 (園)	—	14	0
指標のめざすべき方向		↑	達成度 (%)	—	42.86
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え豊かな心を育むまち 施策目標15 子どもたちが健やかに育つことができるまち			達成度
	市長公約	—			達成度の推移
	実行計画	—			
	関連計画	—			
5-②	学校園活性化事業【再掲】※基本方策1に記載	担当課	学校教育室 (教育指導担当) 公立保育幼稚園課		
5-③	学校支援社会人等指導者活用事業【再掲】※基本方策2に記載	担当課	学校教育室 (教育指導担当) 公立保育幼稚園課		

5-④	幼稚園保護者支援充実事業 (預かり保育事業)		担当課	公立保育幼稚園課	事業費計 予算額 (千円) ※人件費を含む	67,377
概 要			進捗状況 (令和3年9月30日現在)			
◆幼稚園で預かり保育を実施し、幼児の心身の健全な発達を促すとともに、幼児教育の充実と保護者の子育て支援及び就労支援の充実を図る。また、2・3歳の未就園児及び保護者が、安心して遊び、交流できる場として幼児教育教室を実施し、家庭の教育力を高めるとともに、子育て不安の軽減等を図る。			◆預かり保育は延べ888日実施し、延べ15,540人が利用した。 ◆幼児教育教室は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、令和3年9月までは実施を控え、10月下旬から参加人数を調整しながら実施する予定である。 ◆就労支援の一環として、令和3年10月から幼稚園給食をモデル的に実施するための準備を行った。			
指標の説明			年度	R1年度	R2年度	R3年度
(実績値の内容) 保護者のニーズ(申し込み)に対する幼児教育教室及び預かり保育実施率			実績値 (%)	100.00	100.00	100.00
(目標値の根拠) ニーズ(申し込み)に対する実施率100%			目標値 (%)	100.00	100.00	100.00
指標のめざすべき方向		↑	達成度 (%)	100.00	100.00	100.00
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標15 子どもたちが健やかに育つことができるまち			達成度	
	市長公約	—				
	実行計画	—			達成度の推移	
	関連計画	第2期枚方市子ども子育て支援事業計画				

5-⑤	市立幼稚園における3歳児保育実施事業		担当課	公立保育幼稚園課	事業費計 予算額 (千円) ※人件費は除く	588
概要			進捗状況(令和3年9月30日現在)			
<p>◆平成30年度に改正された「幼稚園教育要領」、「保育所保育指針」、「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」において、就学前の子ども(3～5歳児)に対する共通の教育目標が示され、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」として改めて幼児教育が重要と位置づけられた。</p> <p>◆そうした中、教育内容の充実を図るため、公立幼稚園(6園)において、令和元年度から新たに3歳児保育を開始するとともに、預かり保育時間を7～19時に拡充することで、待機児童対策の一環で1・2歳児の小規模保育事業に取り組んでいる4園(枚方・高陵・蹉跎・田口山幼稚園)については、小規模保育施設から公立幼稚園まで切れ目のない教育・保育を提供する「枚方版子ども園」として運営する。</p>			<p>◆市立幼稚園6園(枚方・香里・樟葉・高陵・蹉跎・田口山)において入園を検討する保護者に対して、幼稚園見学会や個別相談を実施した。</p> <p>◆1園においては、預かり保育の定員を越える申し込みがあった日について抽選を実施し、利用人数の調整を行った。</p>			
指標の説明		年度	R1年度	R2年度	R3年度	
(実績値の内容) 3歳児保育に対する入園児数		実績値 (人)	137	132	125	
(目標値の根拠) 令和2年度3歳児定員		目標値 (人)	150	150	150	
指標のめざすべき方向		↑	達成度 (%)	91.33	88.00	83.30
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え豊かな心を育むまち 施策目標15 子どもたちが健やかに育つことができるまち			達成度	/
	市長公約	—				
	実行計画	平成30年度9月補正実行計画			達成度の推移	
	関連計画	就学前の教育・保育施設に係るひらかたプラン 第2期枚方子ども子育て支援事業計画				

基本方策6 社会に開かれた学校づくりの推進

近年、子どもを取り巻く環境が大きく変化しており、未来を担う子どもたちを健やかに育むためには、学校、家庭及び地域がそれぞれの役割と責任を自覚しつつ、地域全体で教育に取り組む体制づくりが必要であり、保護者や地域住民とともに学校運営を進める「社会に開かれた学校づくり」の推進が求められています。

保護者や地域住民の理解や協力を得て、各学校において特色ある教育活動を展開していくため、子どもが抱える課題を地域ぐるみで解決する仕組みやコミュニティ・スクール等、学校運営に地域住民や保護者が参画する体制の構築に取り組みます^①。また、子どもたちに求められる資質・能力とは何かを社会と共有し、連携する「社会に開かれた教育課程」の実現に取り組みます。

学校園の信頼の醸成や課題解決の促進のため、全国学力・学習状況調査の結果や分析をはじめ、「学校いじめ防止基本方針」や校内における相談体制等について、ホームページに掲載するなど、学校の取組や子どもの状況等の情報を積極的に公表し、地域や保護者等との協力関係の構築へつなげていきます^①。また、学校と保護者との連絡体制について、ミルメールの改善、双方向の連絡手段の構築に取り組みます。

教育に関わる課題が多様化・複雑化する中、より地域や保護者との協力関係を築きながら、学校の組織としてのあり方の見直しや業務の改善を進める^①ことで、「チーム学校」としての機能を果たせるよう、学校園ガバナンスの確立に取り組みます。

主要事業の状況

6-①	コミュニティ・スクール推進事業	担当課	学校教育室 (教育指導担当)	事業費計 予算額 (千円) ※人件費は除く	3,031
概要		進捗状況 (令和3年9月30日現在)			
◆保護者や地域住民等から構成され、学校運営や運営への必要な支援に関して協議する枚方におけるコミュニティ・スクールを小学校に順次設置する。また、研究会等を開催し、枚方におけるコミュニティ・スクールの実践事例の紹介、設置校の取組みの発信を行い、「地域とともにある学校づくり」を推進する。		◆昨年度、全45小学校がコミュニティ・スクールとなり、「地域とともにある学校づくり」を推進している。 ◆12月、2月にコミュニティ・スクール研修会の開催を予定している。研修会では、講師による講話や他府県の事例を紹介することで、コミュニティ・スクールへの理解を深め、情報を発信するとともに、「地域とともにある学校づくり」を推進していく。			
指標の説明		年度	R1年度	R2年度	R3年度
(実績値の内容) アンケートにおける「コミュニティ・スクールなどの仕組みを生かして、保護者や地域のひととの協働による活動を行いましたか」の設問に対して肯定的回答をした学校長の割合		実績値 (%)	100.00	89.00	調査未実施 (9月30日現在)
(目標値の根拠) 肯定的回答の割合100%		目標値 (%)	100.00	100.00	100.0
指標のめざすべき方向		↑	達成度 (%)	100.00	89.00
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			達成度
	市長公約	平成29・30年度・令和2年度市政運営方針、令和元年度所信表明			
	実行計画	平成30年度当初実行計画			達成度の推移
	関連計画	—			

基本方策7 学びのセーフティネットの構築

近年、登下校時の交通事故や不審者等により子どもが犠牲となる事件・事故が生じており、子どもが安全で安心して学べる環境づくりが求められています。

また、インターネット等によるいじめや、学校生活や家庭環境など様々な理由による不登校等、生徒指導上の課題が深刻化する中、子どもたちが安全に安心していきいきと学校での時間を過ごせる環境づくりが必要です。

子どもが安全で安心して学べる環境づくりに向けて、オートロックや機械警備等による学校施設内の安全確保^①や、地域で行われている子どもの安全を見守る活動との連携のほか、防犯カメラや、専用端末を使用した子どもの位置情報履歴確認サービス等による通学路の安全対策の強化を図ります^②。また、不審者情報等の緊急情報を保護者にメールで配信するシステムを有効活用する^③とともに、同システムの改善を通じて安全・安心な体制の構築に努めます。

さらに、近年の子どもが巻き込まれた事件・事故や、大規模災害の教訓を生かし、子ども自らが危険を回避する能力を養う安全・防災教育を推進します^④。

新型コロナウイルス感染症等への対応として、必要な消耗品等の配備や、消毒作業の実施など、状況に応じた安全対策を図るとともに、子どもたちには、自分や周囲の大切な人を守るための実践力を育てます。

いじめは重大な人権問題であるとの認識のもと、被害者が精神的苦痛や不安を克服できるよう支援するとともに、加害者への教育的配慮等、学校園において誠実かつ丁寧に組織的対応を行います^{④⑤⑥⑦⑧⑨}。

いじめの防止、早期解決に向けては、SSW等の専門家に加え、新たに市が委嘱するスクールロイヤーを活用します^{5⑨}。

児童・生徒の不登校の兆しにも留意しながら、より一層の未然防止に努めます^{7⑧⑨⑩}。あわせて、不登校児童・生徒への対応としては、登校しやすい学校づくりを進めるとともに、社会的自立をめざし学校への復帰以外の選択肢があることを含め、一日も早く社会との関わりを取り戻すことができるよう支援を進めます^{7⑩⑪}。また、これまでの対応に加え、ICT等を活用した学習活動など個に応じた取組を進めます。

子どもの貧困対策については、子育て家庭への経済的な負担軽減や学習支援、相談支援など様々な施策を横断的かつ重層的に活用しながら、適切な支援を進めます^{7⑨}。

また、不登校やひきこもり、児童虐待、子どもの貧困等、支援を必要とする児童・生徒に関わる様々な事象に対しては、未然防止や早期対応ができるよう、行政各分野が持つ子どもの情報の共有化を適切に進めるとともに、今後、制定する「(仮称)子どもを守る条例」を踏まえながら、関係部署、関係機関、地域とともに総合的な取組を進めていきます^{5⑨⑩}。

主要事業の状況

7-①	小学校安全監視事業		担当課	新しい学校推進室	事業費計 予算額 (千円) ※人件費は除く	33,009
概要			進捗状況(令和3年9月30日現在)			
<ul style="list-style-type: none"> ◆全小学校の正門に設置した監視カメラ、正門のオートロック装置に連動したワイヤレスモニター子機付きインターホン及び監視カメラの映像を録画するデジタルレコーダーを活用し安全監視を実施する。 ◆来校者の多い時間帯や児童の下校時間に人的配置を行い、人の目による安全監視を行う。 			<ul style="list-style-type: none"> ◆児童の安全・安心な学習環境の確保を行うために、監視カメラ等の機器の修繕等を必要に応じて行っている。 ◆来校者の多い時間帯や児童の下校時間帯等では、機器の活用だけではなく安全監視員などを配置し、人の目による監視を行い、子どもの安全を確保する環境を維持している。 			
指標の説明			年度	R1年度	R2年度	R3年度
(実績値の内容) 児童在校中の小学校への不審者の侵入件数			実績値 (件)	0	0	0
(目標値の根拠) 全小学校の侵入事案なし			目標値 (件)	0	0	0
指標のめざすべき方向		↓	達成度 (%)	100.00	100.00	100.00
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	達成度	/		
	市長公約	—				
	実行計画	—				
	関連計画	—				

7-②	通学路安全対策事業		担当課	新しい学校推進室	事業費計 予算額 (千円) ※人件費は除く	19,710
概要			進捗状況(令和3年9月30日現在)			
<ul style="list-style-type: none"> ◆交通量が多く、信号機のない横断歩道や踏切等の通学路の危険箇所に対して、交通専従員、交通指導員を配置し、児童の登下校の安全を図っている。関係機関と連携し、児童の通学環境の改善に取り組み、交通専従員、交通指導員の効率的・効果的な配置を行う。 ◆関係機関と連携した通学路の合同点検を実施する。 			<ul style="list-style-type: none"> ◆小学校18校(30箇所)に59人の交通専従員・交通指導員を配置し、登下校の安全確保を図った。令和3年11月には、全配置箇所の現地調査を行い、交通量や道路状況の実態を把握する予定としている。 ◆小学校を通じて報告のあった危険箇所を、「枚方市子どもの交通安全プログラム」に基づき、道路管理者、教育委員会、警察署等で構成する通学路安全対策連絡会議で協議をしたうえ、合同点検を実施した。 			

指標の説明		年度	R 1 年度	R 2 年度	R 3 年度
(実績値の内容) 交通専従員、交通指導員の配置人数 (信号機の設置等で安全確保できたところから、交通指導員等を順次廃止する。)		実績値 (人)	59	59	59
(目標値の根拠) 前年度実績		目標値 (人)	57	59	59
指標のめざすべき方向		↓	達成度 (%)	96.49	100.00
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			達成度
	市長公約	平成29・30年度市政運営方針			
	実行計画	平成28年度当初実行計画			達成度 の推移
	関連計画	—			

7-③	小中学校安全対策事業	担当課	教育支援室 (児童生徒支援担当)	事業費計 予算額 (千円) ※人件費は除く	2,626
概要		進捗状況 (令和3年9月30日現在)			
<ul style="list-style-type: none"> ◆学校園において、危機管理マニュアルを見直し、実践的な避難訓練を実施する。 ◆小中学校においては、一般の安全指導の他、交通安全教室等を実施する。 ◆いのちの大切さを学ぶ教育を在学中に受けられるように、全小学校の高学年を対象に小学校において、胸骨圧迫とAEDの取り扱いに特化した救命講習を実施する。 ◆小学校において防災キャンプを実施する。 ◆学校園において、メール配信システムを活用し、不審者情報や暴風警報等発令時の具体的な対応を関係機関、保護者に提供する。 		<ul style="list-style-type: none"> ◆学校園において、危機管理マニュアルを見直し、実践的な避難訓練を実施している。 ◆中学校の自転車交通安全教室を8校で実施した。小学校の歩行及び自転車の交通安全教室については、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、11月以降に延期して実施予定である。 ◆救命講習を13校で実施した。 ◆小学校において防災キャンプを実施することを検討したが、令和3年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止により、中止で検討している。 ◆学校園において、メール配信システムを活用し、不審者情報や暴風警報等発令時の具体的な対応を関係機関、保護者に提供している。 			
指標の説明		年度	R 1 年度	R 2 年度	R 3 年度
(実績値の内容) 小学校における救命講習の実施校		実績値 (校)	—	臨時休校に伴う授業時数確保のため 中止	13
(目標値の根拠) 全小学校で実施		目標値 (校)	—	45	45
指標のめざすべき方向		↑	達成度 (%)	—	測定不能
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			達成度
	市長公約	平成29・30年度市政運営方針			
	実行計画	平成28年度当初実行計画			達成度 の推移
	関連計画	—			

7-④	生徒指導充実事業 (枚方市生徒指導体制充実事業)		担当課	学校推進室 (教職員担当)	事業費計 予算額 (千円) ※人件費を含む	42,720
概要			進捗状況 (令和3年9月30日現在)			
<p>◆生徒一人ひとりの状況に応じた支援や指導をするため、生徒指導主事は、スクールカウンセラー等とより緊密に連携し、専門的な立場からアドバイスを受け、担任や学年に対しての指導・助言に当たる。教員は、生徒たちへの接し方を工夫し、一人ひとりに対してよりきめ細かな指導を行う。</p> <p>◆生徒指導体制を強化する必要があると認められる学校に加配講師を配置することにより、授業が軽減された生徒指導主事が中心となり、生徒の実態を踏まえた人権教育等を充実にさせ、いじめや暴力行為などの問題行動に対して迅速かつ適切に指導を行う。</p> <p>◆各学校において策定のいじめ防止基本方針に基づき枚方市生徒指導マニュアル(いじめ防止編)を用いた教職員の研修及び児童・生徒に対するいじめアンケートの実施、枚方市生徒指導マニュアル(体罰防止編)を用いた教職員の研修等により、いじめの未然防止と体罰の根絶に努める。</p>			<p>◆加配希望があった学校からの調書等、複数の観点から精査した結果、令和3年度は中学校7校に市費負担任期付教員を1人ずつ配置し、2校には非常勤講師を1人ずつ配置している。現在、生徒指導主事が中心となって、生徒の実態を踏まえた人権教育等を充実にさせたり、いじめや暴力行為などの問題行動に対して関係機関と連携し、迅速かつ的確に指導を行っている。加えて、年度当初及び夏季休暇休業期間中等に、枚方市生徒指導マニュアル(いじめ編)(体罰防止編)等を用いた教職員研修を実施し、いじめの未然防止と体罰の根絶に努めている。</p> <p>◆加配講師(任期付講師)配置校 令和3年度 学校名 第二中、第四中、津田中、中宮中、東香里中、山田中、蹉跎中 ※(非常勤講師) 第一中、招提北中</p>			
指標の説明		年度	R1年度	R2年度	R3年度	
(実績値の内容) 中学校全体の暴力行為の発生件数		実績値 (件)	51	40	23 (7月31日現在)	
(目標値の根拠) 暴力行為発生件数が前年度より10%減少		目標値 (件)	143	46	36	
指標のめざすべき方向		↓	達成度 (%)	164.34	113.04	136.11 (7月31日現在)
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子供たちの生きる力を育む教育が充実したまち			達成度	/
	市長公約	—				
	実行計画	平成28年度当初実行計画			達成度の推移	
	関連計画	—				

7-⑤	いじめ問題対策事業		担当課	教育支援室 (児童生徒支援担当)	事業費計 予算額 (千円) ※人件費を含む	847
概要			進捗状況 (令和3年9月30日現在)			
<p>◆枚方市の関係部課と大阪府子ども家庭センターや警察等外部関係機関に属する者で構成される枚方市いじめ問題対策連絡協議会の定例会を開催する。</p> <p>◆枚方市学校いじめ対策審議会定例会を年2回開催する。また、必要に応じて臨時会を開催する。</p> <p>◆「ストップ!いじめ」全小中学校の新入生の保護者を対象に、いじめ問題に対する啓発冊子として配付する。</p>			<p>◆令和3年度「枚方市いじめ問題対策連絡協議会」の定例会は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、1回目は書面開催。2回目は11月17日に開催予定である。</p> <p>◆枚方市学校いじめ対策審議会は、定例審議会を9月28日に開催した。</p> <p>◆家庭と連携した「いじめ問題」防止の啓発のため、「ストップ!いじめ」を4月、小・中学校の新入生保護者に配付した。</p> <p>◆枚方市いじめ防止基本方針に基づき、引き続き、いじめの未然防止、早期発見・早期解消に向けて取り組んでいる。</p> <p>◆各学校においては、学期に1回以上、児童・生徒に対するいじめアンケートと教育相談を実施し、いじめの未然防止に努めた。また、生起したいじめ事案は組織的に対処し、解消に向け、取り組んでいる。</p>			
指標の説明		年度	R1年度	R2年度	R3年度	
<p>(実績値の内容) 認知したいじめの解消率 (解消件数/認知件数) 【】内は、R2年度末時点の実績値</p>		実績値 (%)	小100.00 (432/432) 【100.00 (432/432)】 中 98.60 (141/143) 【98.60 (141/143)】	小 98.94 (651/658) 中 97.42 (264/271)	小 2.81 (11/391) 中 10.52 (12/144) (1学期末現在) ※いじめ解消判定には、少なくとも3ヶ月を要するため、集計時点における解消件数は、認知件数よりも大幅に少なくなります。	
<p>(目標値の根拠) 年度内に小・中学校において認知したいじめを100%解消する。 小学校と中学校ではいじめの認知件数に差はあるが、ここでは小・中学校合わせた解消率とする。</p>		目標値 (%)	100.00	100.00	100.00	
指標のめざすべき方向		↑	達成度 (%)	小 100.00 中 98.60	小 98.94 中 97.42	小 2.81 中 8.33 (1学期末現在)
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			達成度	/
	市長公約	平成28・29・30年度・令和2・3年度市政運営方針				
	実行計画	平成28年度当初実行計画			達成度の推移	
	関連計画	—				

7-⑥	スクールアドバイザー派遣事業	担当課	教育支援室 (児童生徒支援担当)	事業費計 予算額 (千円) ※人件費は除く	240
概要			進捗状況(令和3年9月30日現在)		
○スクールアドバイザーの業務 ◆事件、事故等緊急を要する事例に対しての派遣を行っている。 ○スクールアドバイザーとして派遣する者 ◆臨床心理士等の専門的な知識・経験を有する者の中から、教育支援推進室が依頼した者			◆令和3年度は、9月30日現在、4校(1小学校、3中学校)に延べ12回アドバイザーを派遣し、教職員25人、児童・生徒9人、保護者1人の支援にあたった。		
指標の説明		年度	R1年度	R2年度	R3年度
(実績値の内容) スクールアドバイザーの派遣要請に対して、実際にスクールアドバイザーを派遣した割合 (派遣件数/派遣要請件数)		実績値 (%)	100.00 (21/21)	100.00 (18/18)	100.00 (12/12)
(目標値の根拠) 派遣要請に対して、実際に派遣した割合		目標値 (%)	100.00	100.00	100.00
指標のめざすべき方向		↑	達成度 (%)	100.00	100.00
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			達成度
	市長公約	—			
	実行計画	平成28年度当初実行計画			達成度の推移
	関連計画	—			

7-⑦	教育相談事業	担当課	教育支援室 (児童生徒支援担当)	事業費計 予算額 (千円) ※人件費は除く	10,277
概要			進捗状況 (令和3年9月30日現在)		
○子どもの笑顔を守るコール (いじめ専用ホットライン・教育安心ホットライン) ◆幼児・児童・生徒やその保護者等に対する電話による教育相談を行う。(平日 9:00~17:00) ○継続教育相談 ◆幼児・児童・生徒やその保護者等に対する面談による教育相談を行う。(要予約 月~金) ○メンタルヘルス相談 ◆教職員に対するメンタルヘルス相談を行う。(要予約 月・金の午後)			◆幼児・児童・生徒やその保護者等に対する電話及び面談による教育相談、また、教職員のメンタルヘルス電話相談を行うことにより、それぞれが抱える課題等について適切に対応している。 <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの笑顔を守るコール 173件 ・継続教育相談 825件 ・メンタルヘルス相談 0件 		
指標の説明		年度	R1年度	R2年度	R3年度
(実績値の内容) 電話、来館による年間相談延べ件数 (子どもの笑顔を守るコール、教育文化センター内での継続教育相談、教育文化センター内でのメンタルヘルス相談の延べ件数)		実績値 (件)	1,840	1,865	998
(目標値の根拠) 子どもの笑顔を守るコール、継続教育相談、メンタルヘルス相談の延べ件数の前年度実績		目標値 (件)	1,888	1,840	1,865
指標のめざすべき方向		↑	達成度 (%)	97.45	101.36
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			達成度
	市長公約	—			達成度の推移
	実行計画	平成28年度当初実行計画			
	関連計画	—			

7-⑧	「心の教室相談員」配置事業		担当課	教育支援室 (児童生徒支援担当)	事業費計 予算額 (千円) ※人件費は除く	8,530
概要			進捗状況(令和3年9月30日現在)			
◆全小学校に、「心の教室相談員」を配置し、児童・保護者に対する教育相談及び教職員への助言を行う。			◆全45小学校に「心の教室相談員」を配置し、児童・保護者に対する教育相談及び協力員への助言を735回行った。			
指標の説明		年度	R1年度	R2年度	R3年度	
(実績値の内容) 心の教室相談員の年間総配置回数		実績値 (回)	1,631	1,581	735	
(目標値の根拠) 【R1年度】 小学校1校あたりの平均配置回数を36回 【R2・3年度】 小学校1校あたりの平均配置回数を37回		目標値 (回)	1,620	1,665	1,665	
指標のめざすべき方向		↑	達成度 (%)	100.68	94.95	44.14
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			達成度	/
	市長公約	—				
	実行計画	平成28年度当初実行計画			達成度の推移	
	関連計画	—				

7-⑨	福祉・教育ソーシャルワーク事業		担当課	子どもの育ち見守りセンター	事業費計 予算額 (千円) ※人件費を含む	22,300
概要			進捗状況(令和3年9月30日現在)			
<ul style="list-style-type: none"> ◆就学前・就学後の支援の継続性の確保と連携強化を図るため子どもの育ち見守りセンターへ移管(補助執行)する。 ◆配置または派遣する学校の教職員とのチーム体制によるケース対応 ◆教職員と連携した校内ケース会議のファシリテーションや福祉的手法に基づく教職員への相談援助 ◆小中合同ケース会議等、小・中学校教職員が協働した小・中学校間連携の推進 ◆学校と関係機関等との連携のコーディネート ◆中学校派遣のスクールカウンセラーとの連携 ◆小中一貫教育を見据えた系統性・継続性のある生徒指導体制の構築 ◆子どもの育ち見守りセンター等が開催する研修会、連絡会等への参加 ◆法律、福祉、心理、教育の専門分野のスクールソーシャルワーカー(SSW)・スーパーバイザー(SV)を設置しスクールソーシャルワーカーへ指導助言を実施 スクールソーシャルワーカーを配置する拠点校以外の学校についても月に1回程度巡回し、児童・生徒の様子や学校の状況について確認・助言 ◆その他、教育長が認める事項に関すること 			<ul style="list-style-type: none"> ◆6か所の拠点校に社会福祉士または精神保健福祉士の資格を有するSSWを配置しており、教職員(教員や派遣されているスクールカウンセラー等)とともに校内チーム体制を構築しながら、ケース対応や、必要に応じて関係機関等との連携のコーディネートを行っている。 ◆SSWは配置された拠点校だけでなく市内の全小中学校において、巡回または要請による派遣により、学校の教職員と協働で課題のある児童・生徒への支援を実施している。また、福祉的手法に基づいたアセスメントやケース会議の在り方等について教職員に向けて研修を実施している。 ◆9月末時点での拠点校における活動は157回、拠点校以外の市内全小中学校における、巡回または要請による派遣で行った活動は93回である。 ◆子どもの育ち見守りセンターが主催し、拠点校の管理職やSSW担当教諭が出席する連絡会を9月末時点で2回実施している。 ◆SSW・SVによる拠点校への巡回や研修を7回実施している。 			

指標の説明		年度	R 1年度	R 2年度	R 3年度
(実績値の内容) スクールソーシャルワーカー等の活動回数		実績値 (回)	369	467	486
(目標値の根拠) 【R 2年度まで】 SSW・SV 12回、SSW 9人×55回 【R 3年度から】 432回 (SSW 3人×週3日×48週) 576回 (SSW 3人×週4日×48週)		目標値 (回)	507	507	1,008
指標のめざすべき方向	↑	達成度 (%)	72.78	92.11	48.21
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標15 子どもたちが健やかに育つことができるまち			達成度
	市長公約	平成28・29年度・令和2年度市政運営方針			
	実行計画	平成28年度当初実行計画			達成度 の推移
	関連計画	—			

7-⑩	不登校児童・生徒支援事業	担当課	教育支援室 (児童生徒支援担当)	事業費計 予算額 (千円) ※人件費は除く	13,097
概要		進捗状況 (令和3年9月30日現在)			
<ul style="list-style-type: none"> ◆不登校の兆候が見えた児童・生徒に対して、その要因や背景に応じた適切な支援を行うことにより、不登校の未然防止に努めるとともに、不登校児童・生徒に対して、校内適応指導教室などを活用して、教育相談や学習支援などを行い、不登校児童・生徒に対する適切な支援を行う。 ◆枚方市不登校支援協力員連絡会を開催し情報交換を図る。 ◆月1回中学校区ごとに小中学校間の情報交流を行う。 ◆1人1台貸与されているタブレット端末をツールとして、不登校児童・生徒に対し、学習の保障のため、タブレットドリルの配信やオンライン授業を行う。また、双方向で学校と児童・生徒とコミュニケーションが取れるよう図る。 		<ul style="list-style-type: none"> ◆不登校の兆候が見えた生徒に対して、その要因や背景に応じた適切な支援を行うことにより、不登校の未然防止に努めている。不登校生徒に対しては、不登校支援協力員により、校内適応指導教室などを活用して、教育相談や学習支援を行っている。 ◆市内全中学校と7小学校に不登校支援協力員を配置し、不登校の未然防止に取り組むとともに、不登校生徒の要因や背景に応じた適切な支援を行っている。 ◆新たな不登校を生まない取組みとして、生徒指導主事や子ども支援コーディネーターと連携して情報共有を図っている。 ◆枚方市不登校支援協力員連絡会は、11月10日と年度末の2回実施する予定である。 ◆枚方市小・中学校生徒指導連絡会は、新型コロナウイルス感染症感染拡大状況に応じ参集型(中学校は11月から実施予定。小学校は12月から実施予定)とオンライン型の2種類を使い分けて実施している。 			
指標の説明		年度	R 1年度	R 2年度	R 3年度
(実績値の内容) 市内全中学校における不登校出現率(5月1日現在の全中学校在籍人数に対して、不登校の欠席が30日以上の子の合計)		実績値 (%)	4.54	4.75	2.85 (1学期末現在)
(目標値の根拠) 公表されている府の公立中学校過去5年の不登校出現率の平均		目標値 (%)	4.00	3.97	3.74
指標のめざすべき方向	↓	達成度 (%)	86.50	80.35	124.06 (1学期末現在)
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			達成度
	市長公約	平成28・29年度市政運営方針			
	実行計画	平成28年度当初実行計画			達成度 の推移
	関連計画	—			

7-⑪	適応指導教室事業	担当課	教育支援室 (児童生徒支援担当)	事業費計 予算額 (千円) ※人件費を含む	10,348
概要		進捗状況(令和3年9月30日現在)			
<p>○入室児童・生徒</p> <p>◆学習活動・体験活動・創作活動等、社会的自立をめざした支援・指導を行う。</p> <p>○訪問指導</p> <p>◆学生指導員が家庭訪問を行い、主体的な活動への支援を行う。</p> <p>○馬とのふれあい体験</p> <p>◆馬の世話を通して、不登校状態にある児童・生徒の指導・支援を行う。</p>		<p>○入室児童・生徒</p> <p>◆主に、心理的要因で不登校状態にある児童・生徒に対し、教育文化センターに設置している適応指導教室「ルポ」で学習支援、グループ活動、カウンセリング、保育体験、福祉体験、馬とのふれあい体験などを通し、支援・指導を行っている。夏季の保育体験・福祉体験は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、中止としたが、11月と2月の保育体験・福祉体験は実施予定である。</p> <p>○訪問指導</p> <p>◆訪問指導において、保護者の悩みを聴くとともに、生徒の状況に良い変化を見て取ることができた。学生指導員と担当指導主事は、毎週水曜日、10時から2時間程度家庭訪問を実施している。</p> <p>○馬とのふれあい体験</p> <p>◆「セルフわらしべ」にて、6日間実施し、延べ5人が参加予定である。</p> <p>①令和3年10月27日～29日の3日間 ②令和4年2月2日～4日の3日間</p>			
指標の説明		年度	R1年度	R2年度	R3年度
(実績値の内容) 適応指導教室「ルポ」への入室基準を満たし、登室を承認された児童・生徒が、登室した割合		実績値 (%)	87.50	100.00	95.45
(目標値の根拠) 「ルポ」への登室100%		目標値 (%)	100.00	100.00	100.00
指標のめざすべき方向		↑	達成度 (%)	87.50	100.00
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			達成度
	市長公約	平成28・29年度市政運営方針			
	実行計画	平成28年度当初実行計画			達成度の推移
	関連計画	—			

基本方策8 学びを支える教育環境の充実

少子化の進行による児童・生徒数の減少や学校施設の老朽化が進む中で、学校施設の更新や教育の情報化の推進等、より安全で充実した教育環境が求められています。また、教職員の多忙化が課題となる中で、教職員が授業や子どもたちと向き合う時間を確保するための取組が必要です。

令和2年3月に策定した「枚方市学校整備計画」に基づき、トイレの洋式化・ドライ化や校舎の長寿命化改修などの計画的な整備を進めます^①。

空調設備については、令和2年度で終了する「枚方市学習環境整備PFI事業」の検証を踏まえ、令和3年度以降、より効果的・効率的な維持管理・更新を行うとともに、学校体育館への空調設備の計画的な整備が図られるよう取り組みます^②。また、適正な学校規模とする学校配置等の適正化に取り組みます^③。

また、ICTを効果的に活用したわかりやすく深まる授業や個に応じた家庭学習の充実を実現するため、教職員・児童・生徒に対し、一人一台のタブレット端末や周辺機器等を配備するなど、教育の情報化を推進します^④。

また、教育委員会と学校とが、今まで以上に一体となって学校運営を進めていくため、ICT等を活用したより効率的な情報共有や連絡体制の確立をめざします。

さらに、教職員が子どもと向き合い、指導に専念できる時間をより多く確保するため、ICTを活用し通知表や指導要録等の事務処理を軽減する^⑥とともに、より効果的・効率的な学校運営に向けての見直しや、教職員の健康保持等、勤務環境の整備に取り組みます。

衛生面に配慮した安全で安心な給食を安定的に提供する^⑥ため、老朽化が進む小学校給食調理場の計画的な更新整備に取り組みます^⑦。

主要事業の状況

8-①	学校整備・保全事業	担当課	施設整備室	事業費計 予算額 (千円) ※人件費は除く	2,737,967
概要		進捗状況(令和3年9月30日現在)			
◆「枚方市学校整備計画」に基づき、学校施設の総合的かつ計画的な整備や保全を行う。また、学校トイレを乾式化し洋式トイレに改修するとともに多目的トイレを整備する。		◆「枚方市学校整備計画」に基づいた保全工事を26件、トイレ整備工事32件について、整備を進めている。			
指標の説明		年度	R1年度	R2年度	R3年度
(実績値の内容) 学校トイレの改修工事実施箇所(系列)数		実績値 (件)	8	8	0
(目標値の根拠) 枚方市学校整備計画に基づく学校トイレの計画対象箇所(系列)数		目標値 (件)	—	10	32
指標のめざすべき方向		↑	達成度 (%)	—	80.00
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			達成度
	市長公約	13. 少人数教室の整備、学校園トイレの洋式化、学校体育館への空調設備の設置、単独調理場のドライ化			
	実行計画	16-3. 学校園施設等の整備			達成度の推移
	関連計画	枚方市学校整備計画			

8-②	学校空調設備整備・維持管理事業	担当課	施設整備室	事業費計 予算額 (千円) ※人件費は除く	94,280
概要		進捗状況(令和3年9月30日現在)			
◆小中学校の教室等の空調設備の更新及び点検・清掃・修理等の維持管理を実施する。 ◆小中学校体育館62棟への空調設備を整備する。また、整備後の点検・清掃・修理等の維持管理を実施する。		◆小中学校の教室及び体育館の空調整備に向けて、現状の把握、他市視察を含めた事例調査を行うとともに、可能性調査委託において空調方式や事業手法、国庫補助金及び起債等財源の検討等を進めている。			
指標の説明		年度	R1年度	R2年度	R3年度
(実績値の内容) 空調設備の維持管理室数に対するの実入室数		実績値 (室)	2,521	2,521	2,521
(目標値の根拠) 小中学校における空調設備の維持管理室数		目標値 (室)	2,521	2,521	2,521
指標のめざすべき方向		↑	達成度 (%)	100.00	100.00

関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	達成度	/
	市長公約	13. 少人数教室の整備、学校園トイレの洋式化、学校体育館への空調設備の設置、単独調理場のドライ化		
	実行計画	16-3. 学校園施設等の整備	達成度の推移	
	関連計画	枚方市学校整備計画		

8-③	学校規模等適正化事業	担当課	新しい学校推進室	事業費計 予算額 (千円) ※人件費は除く	69,977
概要		進捗状況（令和3年9月30日現在）			
◆将来における適正な学校の配置等を進めるため、審議会での答申を踏まえ、基本方針を策定し学校統合に向けた取組みを進める。		◆高陵小と中宮北小の学校統合について、保護者、地域コミュニティ、学校、教育委員会の代表者からなる「枚方市新しい学校づくり協議会」を発足し、統合に関する諸課題について協議を行うとともに、新校舎建築に係る「新しい学校づくり」に関する協議・検討を行っている。 ◆令和3年9月定例会において、新しい学校名を「禁野小学校」とする枚方市立小学校及び中学校設置条例の一部改正案が可決した。			
指標の説明		年度	R1年度	R2年度	R3年度
(実績値の内容) 学校統合や校舎の増築、校区変更等により学校規模等が適正化された学校		実績値 (校)	50	54	55
(目標値の根拠) 学校統合や校舎の増築、校区変更等により学校規模等が適正化された学校		目標値 (校)	50	54	55
指標のめざすべき方向	↑	達成度 (%)	100.00	100.00	100.00
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	達成度	/	
	市長公約	平成29・30年度・令和2・3年度市政運営方針、令和元年度所信表明			
	実行計画	平成28年度当初実行計画	達成度の推移		
	関連計画	—			

8-④	学校ICT機器等整備業務【再掲】※基本方策1に記載	担当課	学校教育室 (教育研修担当)
-----	---------------------------	-----	-------------------

8-⑤	校務の情報化推進事業		担当課	学校教育室 (教育研修担当)	事業費計 予算額 (千円) ※人件費は除く	22,962
概要			進捗状況(令和3年9月30日現在)			
◆校務支援システムを更新し、学校における児童・生徒の情報を電子化して一元管理し、その情報を通知表、指導要録、出席簿等の作成や、成績・保健管理等に活用することで、教職員の事務を軽減し、児童・生徒と向き合う時間の確保と、よりきめ細かな指導による教育の質の向上を図る。また、個人情報等を含むデータをサーバにより一元管理することで個人情報の持ち出しを防ぎ、学校内の情報セキュリティの向上を図る。			◆校務支援システムを更新し、4月1日から稼働させた。 ◆校務支援システムの円滑な運営のため、校内システム担当者を中心に、新・転任者等にも研修等で操作等の習熟に努めている。 ◆校内情報セキュリティ担当者に対し、個人情報の取り扱い等について研修を実施するとともに、各校で情報セキュリティ研修を行うことで、セキュリティに対する教職員の理解を深めている。			
指標の説明			年度	R1年度	R2年度	R3年度
(実績値の内容) 教員アンケートにおける「出席簿の3月分と年度末集計事務に要した合計時間」の平均時間			実績値 (時間)	1.98	1.66	調査未実施 (9月30日現在)
(目標値の根拠) 1. 5時間以内(学校の放課後時間内(15:30~17:00))に完了することをめざすもの			目標値 (時間)	1.50	1.50	1.50
指標のめざすべき方向		↑	達成度 (%)	75.75	90.36	調査未実施 (9月30日現在)
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			達成度	
	市長公約	—				
	実行計画	—			達成度の推移	
	関連計画	—				

8-⑥	学校給食事業【再掲】※基本方策2に記載		担当課	おいしい給食課
-----	---------------------	--	-----	---------

8-⑦	樟葉西小学校給食調理場改修事業		担当課	おいしい給食課	事業費計 予算額 (千円) ※人件費は除く	11,300
概要			進捗状況(令和3年9月30日現在)			
◆単独調理場は、老朽化対策とドライシステム導入が喫緊の課題である。樟葉西小学校給食調理場は、建築後45年が経過する学校併設の最も古い単独の調理場の一つであり、地盤沈下による施設の不具合や給排水設備などの改修が必要なことから、経費・工期の縮減が見込める既存の建物を活用する長寿命化改修工事を行い、ドライシステム調理場として整備する。 ◆今後の予定として、令和3年度に給食調理場長寿命化改修における設計委託を開始し、令和4年度から工事開始、令和5年度に供用開始の予定である。			◆設計の委託業者が決定し、令和2年度にドライシステム化を行った香里調理場を参考に、安全で衛生的な導線、厨房機器の配置等の検討を行いながら、設計を進めている。 ◆令和4年度の工事開始に向け、工事期間中の仮配膳室や安全を確保した給食配送ルート等について、学校等と調整を図り確定していく。			
指標の説明			年度	R1年度	R2年度	R3年度
(実績値の内容) 改修における対策(6段階)の進捗状況 (設計・仮配膳室設置・解体・建築・備品整備・仮配膳室撤去)			実績値 (段階)	—	—	1
(目標値の根拠) 改修完了までに実施すべき対策の段階(6段階)			目標値 (段階)	—	—	1
指標のめざすべき方向		↑	達成度 (%)	—	—	100

関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	達成度	/
	市長公約	令和2・3年度市政運営方針		
	実行計画	令和3年度当初実行計画	達成度の推移	
	関連計画	—		

基本方策9 生涯学習の推進と図書館の充実

社会が激しく変化し、複雑になる中で、生涯にわたり自らに必要な知識や能力を身に付けることが必要となっています。そうしたことを支えるためには、子育て、健康・医療・介護、職業、情報社会、安全・防災、環境問題等、様々な課題に関する学びと、その成果を生かす機会が生涯にわたって提供されることが必要です。

それぞれの分野における様々な行政部門・団体との連携を強めながら、特に基礎的な知識・技術の学習機会の提供に取り組みます^{①②}。また、その学習の成果を、さらに地域において生かすことができる環境づくりを進めます。

図書館においては、これまでの図書館運営の成果と課題を検証したうえで、「枚方市立図書館第4次グランドビジョン」を策定（令和3年3月予定）し、知の源泉となる図書館資料を収集・保存し、市民ニーズに応じた資料や情報を提供する基本的な役割を果たす^{③④⑤⑥⑦⑧}ことで、誰もが読書に親しむとともに、様々な課題の解決につながるよう支援します。また、新型コロナウイルス感染症等に対応する新しい生活様式を踏まえ、電子媒体を活用した非接触型の新しいサービス提供に向けた検討を進めます。

読書が果たす重要な役割を踏まえ、学校図書館に対する中央図書館による支援強化^⑨や、小学校への学校司書配置など、学校図書館機能の充実を図ることにより、児童・生徒の読書活動を推進します^⑩。

主要事業の状況

9-①	社会教育活動推進事業	担当課	教育政策課	事業費計 予算額 (千円) ※人件費は除く	5,790
概要		進捗状況 (令和3年9月30日現在)			
<p>「人生100年時代」を迎えるにあたり、生涯自ら学習し、自己の能力を高め、働くことや、地域や社会の問題解決のための活動につなげていくことの必要性が高まっていく中、社会教育を推進するため、以下の事業を行う。</p> <p>◆社会教育基礎講座…人が地域で生活していくために必要な基礎的な知識や技術の習得の機会を提供する。</p> <p>◆家庭教育支援事業…家庭教育を支援する各種事業を行う。参加者同士の話し合いを通じて、自らの子育てを振り返る機会を提供し、子育てに関する“気づき”を促す講座や、また、親と子が協力し、一つのことを成し遂げたり、何かを作ったりする機会を提供することで、親子のコミュニケーションを促進する講座等を開催する。</p> <p>◆社会教育(人権)講座等…お互いの違いを理解し、尊重することの大切さについて考える機会の提供などを行う講座や、日本語の読み書きや話すことに支障があるため、日常生活に困難を有する人に対し、日本語の学習の場を提供することを目的とした、「枚方市日本語・多文化共生教室『よみかき』」等を実施する。</p>		<p>◆令和3年度は、『絆(きずな)』を共通のテーマに設定し、新型コロナウイルス感染症の状況などを注視しながら、事業を実施している。</p> <p>◆社会教育基礎講座は、「地域歴史講座 第2回 初歩の初歩 川越の歴史」に40人(定員40人)、「地域歴史講座 第3回 初歩の初歩 枚方地区の歴史」に35人(定員40人)の参加があった。</p> <p>◆家庭教育支援事業は、「親子で楽しもう!LED工作教室 ☆あかりについて楽しく学ぼう☆」に15組32人(定員15組30人)の参加があった。</p> <p>◆社会教育人権啓発事業として、枚方市日本語・多文化共生教室「よみかき」については、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和3年4月26日から6月20日は開催を中断した。なお、中断期間においても、日本語による手紙を発送し、少しでも日本語に触れる機会を提供した他、学習者の状況によっては添削方式を取り入れるなどし、学習機会の提供に努めた。</p>			
指標の説明		年度	R1年度	R2年度	R3年度
(実績値の内容) 社会教育活動推進事業の募集人数に対する参加人数の割合 (参加人数/募集人数)		実績値 (%)	67.75 (334/493)	87.50 (238/272)	97.27 (107/110)
(目標値の根拠) 社会教育活動推進事業の募集人員に対する参加人数の割合が80%		目標値 (%)	80.00	80.00	80.00
指標のめざすべき方向		↑	達成度 (%)	84.69	109.38
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標17 誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち	達成度		
	市長公約	—			
	実行計画	—	達成度の推移		
	関連計画	—			

9-②	生涯学習事業	担当課	文化生涯学習課	事業費計 予算額 (千円) ※人件費は除く	16,971
概要			進捗状況(令和3年9月30日現在)		
<p>◆生涯学習事業の推進 他部署との連携事業や美術関連事業等、各生涯学習市民センターを実施場所として各種事業を実施。また、生涯学習市民センターまつりなど実行委員会形式により、市民主体の事業を実施している。</p> <p>◆生涯学習施設の運営 生涯学習市民センター(9施設)の利用運営を行い、生涯学習事業、活動委員会事業などの事業を実施している。</p> <p>◆枚方市生涯学習推進審議会運営事務 市民や専門家の幅広い意見を聴きながら、生涯学習による市民との協働のまちづくりを進めるために、平成18年4月に枚方市生涯学習推進審議会を設置。現在、審議会は学識経験者、関係市民団体等、計10人の委員で構成している。</p> <p>◆枚方市美術施設運営委員協議会運営事務 年3回協議会を開催し、市民ギャラリー、ふれあいホール、御殿山生涯学習美術センター及び総合文化芸術センターの企画展及び公募展の企画運営等、美術施設運営に関することについて、専門的な立場から意見をいただく。</p>			<p>◆生涯学習事業の推進 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、各種事業については延期・中止となることが多く、実施した事業についても規模を縮小した上で実施している。</p> <p>◆生涯学習施設の運営 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、諸室の貸出を休止していたが、6月21日から諸室の貸出を再開した。</p> <p>◆枚方市生涯学習推進審議会運営事務 令和4年1月頃に開催予定である。</p> <p>◆枚方市美術施設運営委員協議会運営事務 7月に第1回美術施設運営委員協議会を開催し、美術施設運営について協議を行った。第2回は11月25日に実施予定である。</p>		
指標の説明		年度	R1年度	R2年度	R3年度
(実績値の内容) 生涯学習施策推進アンケートによる満足度の割合 (「満足」「概ね満足」と回答した設問数/総設問数) ※総設問数=アンケート回答者数(271人) × 設問数(9問)		実績値 (%)	—	51.99 (1,268/2,439)	0 (0/0)
(目標値の根拠) 総設問数に対して「満足」「概ね満足」と回答した設問数が8割		目標値 (%)	—	80.00	80.00
指標のめざすべき方向		↑	達成度 (%)	—	64.99
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 17 誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち	達成度		
	市長公約	—			
	実行計画	平成28年度当初実行計画	達成度の推移		
	関連計画	—			

9-③	図書館資料購入事務		担当課	中央図書館	事業費計 予算額 (千円) ※人件費は除く	58,000
概要			進捗状況(令和3年9月30日現在)			
◆入門書から専門書に至る難易度ごとの蔵書バランスを意識した資料及び教養を高める資料や市民のニーズ等を踏まえた、あらゆる分野にわたり正確で新しい情報を提供できる資料を計画的に購入する。			◆蔵書計画に定める収集方針を踏まえ、蔵書バランスを重視した、資料の計画的な収集を実施している。 ◆図書館の蔵書となる図書を児童書5,297冊、一般書9,789冊、合計15,086冊購入した。(9月30日現在)			
指標の説明		年度	R1年度	R2年度	R3年度	
(実績値の内容) 図書購入冊数		実績値 (冊)	38,244	45,026	15,086	
(目標値の根拠) 直近3年間の実績値の平均		目標値 (冊)	37,130	37,569	40,454	
指標のめざすべき方向		↑	達成度 (%)	103.00	119.84	37.29
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標17 誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち			達成度	
	市長公約	—				
	実行計画	—			達成度の推移	
	関連計画	枚方市立図書館第4次グランドビジョン				

9-④	分館・分室巡回業務		担当課	中央図書館	事業費計 予算額 (千円) ※人件費は除く	16,560
概要			進捗状況(令和3年9月30日現在)			
◆各図書館・分室が所蔵している図書館資料を、市民が希望する図書館・分室で貸出・返却が出来るよう中央図書館を起点に各図書館・分室を巡回する図書館資料の運搬を委託により実施している。			◆図書館業務に必要な不可欠な図書館資料の配送のため、適切な巡回業務に努めている。			
指標の説明		年度	R1年度	R2年度	R3年度	
(実績値の内容) インターネット予約件数		実績値 (件)	526,503	648,350	216,589	
(目標値の根拠) 直近3年間の実績値の平均		目標値 (件)	551,985	518,753	534,300	
指標のめざすべき方向		↑	達成度 (%)	100.00	100.00	40.53
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標17 誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち			達成度	
	市長公約	—				
	実行計画	平成28年度当初実行計画			達成度の推移	
	関連計画	—				

9-⑤	中央図書館運営事業	担当課	中央図書館	事業費計 予算額 (千円) ※人件費は除く	54,558
概要		進捗状況 (令和3年9月30日現在)			
◆幅広い分野の図書館資料を所蔵し、各図書館、分室、自動車文庫の貸出を支援するとともに、他の公共図書館との相互貸借、参考業務、児童サービスなどの中心となり各種図書館サービスを行う。		◆開館日数：151日 貸出冊数(個人)：313,982冊 予約受付件数(個人)：33,690件 延べ利用者数：81,708人			
指標の説明		年度	R1年度	R2年度	R3年度
(実績値の内容) 中央図書館の貸出冊数		実績値 (冊)	834,948	499,053	313,982
(目標値の根拠) 直近3年間の実績値の平均		目標値 (冊)	850,253	867,418	745,016
指標のめざすべき方向		↑	達成度 (%)	98.20	57.53
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標17 誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち			達成度
	市長公約	—			達成度の推移
	実行計画	—			
	関連計画	枚方市立図書館第4次グランドビジョン			

9-⑥	図書館分館運営事業	担当課	中央図書館	事業費計 予算額 (千円) ※人件費は除く	360,199
概要		進捗状況 (令和3年9月30日現在)			
◆図書館サービスにおける地域の拠点として、中央図書館および図書館分室と連携しながら、図書館資料の貸出やレファレンスサービス等の図書館サービスを提供することを目的として、図書館資料の貸出や予約の受付、レファレンスサービス、各種行事等を行う。		◆全7分館を指定管理者が運営している。 ◆貸出冊数(個人)：1,129,256冊 予約受付件数(個人)：332,908件 延べ利用者数：340,894人			
指標の説明		年度	R1年度	R2年度	R3年度
(実績値の内容) 全分館の貸出冊数		実績値 (冊)	1,942,842	1,743,806	1,129,256
(目標値の根拠) 直近3年間の実績値の平均		目標値 (冊)	2,009,992	1,976,130	1,874,352
指標のめざすべき方向		↑	達成度 (%)	96.67	88.24
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標17 誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち			達成度
	市長公約	—			達成度の推移
	実行計画	—			
	関連計画	枚方市立図書館第4次グランドビジョン			

9-⑦	コンピュータシステム運営事業	担当課	中央図書館	事業費計 予算額 (千円) ※人件費は除く	36,321
概要		進捗状況（令和3年9月30日現在）			
◆図書館コンピュータシステムにより中央図書館、分館、分室をオンラインで結び、蔵書管理、貸出返却業務、インターネットによる蔵書検索サービスや予約サービス等を行う。		◆中央図書館コンピュータシステム端末更新のための準備を進めている。			
指標の説明		年度	R1年度	R2年度	R3年度
(実績値の内容) 図書館HPアクセス件数		実績値 (件)	1,346,730	1,227,758	752,990
(目標値の根拠) 直近2年間の実績値の平均		目標値 (件)	—	—	1,287,244
指標のめざすべき方向		↑	達成度 (%)	—	58.50
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標17 誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち			達成度
	市長公約	—			
	実行計画	平成28年度当初実行計画			達成度の推移
	関連計画	—			

9-⑧	障害者利用促進事業	担当課	中央図書館	事業費計 予算額 (千円) ※人件費は除く	1,240
概要		進捗状況（令和3年9月30日現在）			
◆障害のある利用者等の読書環境を整備し、障害者等の利用促進を図ることを目的として、録音・点字資料の貸出、製作、視覚障害者への対面読書、聴覚障害者向けおはなし会及び手話・字幕付映像資料の制作等を行うとともに音訳協力者等の養成を行う。 ◆令和元年7月に策定された「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する基本的な計画」（読書バリアフリー法）に基づき、視覚障害者等に対して、読書困難者の読書を支援する拡大読書機、ルーペ等の拡大補助具、点字ディスプレイ、デージープレイヤー等の機器について、個々の状態に応じた活用に留意し、様々な読書媒体の紹介やそれらを利用するための端末機器等の情報入手に関する支援を行う。 ◆読み上げ機能を備えた電子図書館システムを導入することにより、視覚障害者や学習障害者等の活字での読書が困難な方へのサービスを行う。		◆録音・点字資料の貸出、製作、視覚障害者への対面読書、聴覚障害者向けおはなし会及び手話・字幕付映像資料の制作等を実施している。 ◆デージー再生機等の読書支援機器について、来館した視覚障害者等への使用提供を行うとともに、デージー図書とデージー再生機の自宅への貸出を行うことにより、利用者への機器の情報提供を行っている。 ◆令和3年7月1日から電子図書館サービスを開始した。			
指標の説明		年度	R1年度	R2年度	R3年度
(実績値の内容) 点字・録音図書貸出タイトル数		実績値 (タイトル)	—	—	1,641
(目標値の根拠) 直近3年間の実績値の平均		目標値 (タイトル)	—	—	4,259
指標のめざすべき方向		↑	達成度 (%)	—	38.53

関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標17 誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち	達成度	/
	市長公約	—		
	実行計画	令和3年度当初実行計画	達成度の推移	
	関連計画	枚方市立図書館第4次グランドビジョン		

9-⑨	電子図書館運営事業	担当課	中央図書館	事業費計 予算額 (千円) ※人件費は除く	25,322
-----	-----------	-----	-------	-----------------------------	--------

概要		進捗状況（令和3年9月30日現在）			
----	--	-------------------	--	--	--

<ul style="list-style-type: none"> ◆電子図書館システムの導入により、コロナ禍以後の生活様式に対応した非来館型サービスを提供する。 ◆読み上げ機能を備えた電子図書館システムを導入することにより、視覚障害者や学習障害者等の活字での読書が困難な方へのサービスを行う。 ◆市内全児童・生徒に貸与されたタブレットにより、電子書籍を活用した読書支援を行う。 ◆ICTの進展及びコロナ禍における新しい生活様式にも対応した図書館サービスとして、令和3年7月を目処に電子書籍の貸し出しを開始し、市民が自宅や出先から24時間いつでも電子書籍を活用できるよう、利便性の向上を図ることとした。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆令和3年7月1日から電子図書館サービスを開始した。 ◆市内小中学校に電子図書館サービス開始及び使用方法のチラシを配布した。 ◆所蔵タイトル数：4,856タイトル ログイン数：14,608件 貸出数：6,775冊
--	--

指標の説明		年度	R1年度	R2年度	R3年度
(実績値の内容) 電子書籍貸出冊数		実績値 (冊)	—	—	6,775
(目標値の根拠) 電子書籍貸出冊数		目標値 (冊)	—	—	6,000
指標のめざすべき方向	↑	達成度 (%)	—	—	112.92

関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標17 誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち	達成度	/
	市長公約	—		
	実行計画	平成28年度当初実行計画	達成度の推移	
	関連計画	—		

9-⑩	学校図書館支援事業	担当課	中央図書館	事業費計 予算額 (千円) ※人件費は除く	11,776
概 要		進捗状況（令和3年9月30日現在）			
<p>◆学校図書館の充実と市立図書館蔵書の効果的な活用を図ることで、子どもの読書活動を推進し、自ら学び考える力の育成を支援することを目的に、学校教育室（教育指導担当）の事業計画「読書活動推進事業」と連携し、中央図書館から配置した学校司書への人的・技術的支援を行うとともに、小中学校の学校図書館における児童・生徒への読書環境の整備及び読書活動の支援や調べ学習などの授業支援などの取組みを行う。</p> <p>◆令和3年度からは、全19中学校区に加え、小学校12校に配置（2校兼務）された学校司書と連携し学校図書館機能の向上及び充実を図る。次年度以降に向け、効果検証を行いながら取組みを進める。</p>		<p>◆全19中学校区及び小学校12校に既に配置している市立図書館業務ノウハウを持つ学校司書が全小中学校（64校）の学校図書館整備や運営・授業等の支援を行っている。</p>			
指標の説明		年度	R 1 年度	R 2 年度	R 3 年度
(実績値の内容) 市内全小学校の学校図書館での児童一人当たり年間貸出冊数		実績値 (冊)	—	—	11.75
(目標値の根拠) 直近3年間の実績の平均		目標値 (冊)	—	—	21.59
指標のめざすべき方向		↑	—	—	54.42
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			達成度
	市長公約	平成28・29・30年度・令和2・3年度市政運営方針、令和元年度所信表明			
	実行計画	令和3年度当初実行計画			達成度の推移
	関連計画	枚方市立図書館第4次グランドビジョン			
9-⑪	読書活動推進事業【再掲】※基本方策1に記載	担当課	学校教育室 (教育指導担当)		

基本方策 10 文化・スポーツなどの生涯を豊かにする体験活動の充実

「人生100年時代」を迎えるにあたり、一人ひとりの市民が多様な個性・能力を开花させ、生涯学び、活躍していくためには、豊かな文化・芸術にふれ、自然との関わりを持つことが大切です。

また、市民のふるさと意識やまちへの愛着を育むには、まちの歴史文化への理解を深めることが必要です。さらに、生涯にわたって健やかな生活を過ごすことを可能にするためには、健康な運動習慣を確立することが必要です。

こうしたことから、子どもの時から様々な体験活動や、自由な空間を提供するとともに、地域等とも連携しながら、生涯にわたって人生を豊かにする多様な学習機会を提供していくことが求められています。

社会教育と学校教育の連携を強化し、子どもたちが文化・芸術や自然の中での活動等、様々な体験ができる機会を確保します^{①②}。

生涯学習市民センターや新たに開設する「総合文化芸術センター」などを活用し、子どもたちをはじめとする市民が文化・芸術についての関心を深め、そこに喜びや楽しみを感じられるような環境整備に努めます^{①③}。

また、文化財等の適切な保存を進める^{④⑤}とともに、特別史跡百済寺跡等の貴重な歴史文化遺産を生かして、子どもたちや市民の郷土の歴史への理解を深める^{⑥⑦}とともに、歴史の薫り豊かなまちづくりや文化観光への活用・発展を進めます。

また、各種スポーツ・レクリエーション活動については、プロスポーツに触れる機会の提供や、スポーツ環境の整備に取り組む^{⑧⑨}とともに、健康の維持増進を図るため、身近なところで誰もが取り組める健康スポーツの推進に取り組みます^⑨。

子どもたちは、自らの意思で「時間」「空間」を選び、「仲間」を作りながら、自由な遊びを通して成長していきます。子どもにとって望ましい「放課後」を実現していくために令和2年3月に策定した「児童の放課後を豊かにする基本計画」を踏まえ、本市の実情に即した児童の総合的な放課後対策の計画的な整備を適切かつ円滑に取り組みます^{⑩⑪⑫}。また、留守家庭児童会室の土曜日開室や三季休業期のみの利用受付を検討します^{⑩⑫}。

主要事業の状況

10-①	文化財活用事業【再掲】※基本方策2に記載	担当課	文化財課
10-②	野外活動センター利用促進事業【再掲】※基本方策2に記載	担当課	スポーツ振興課

10-③	文化芸術創造拠点形成事業		担当課	文化生涯学習課	事業費計 予算額 (千円) ※人件費は除く	55,795
概要			進捗状況 (令和3年9月30日現在)			
<ul style="list-style-type: none"> ◆枚方市文化芸術振興計画に基づき、事業を実施し、文化芸術振興審議会で進捗を管理する。 ◆市民が優れた文化芸術に触れる機会の充実や主体的に文化芸術活動を行うことのできる環境整備のため、総合文化芸術センターにおいて、指定管理者との共催等により事業を実施。 ◆文化芸術アドバイザーによるオープニング事業の実施や連携協定を締結したプロのオーケストラ団体との事業を展開する。 ◆市民や市民団体に文化芸術活動の発表の場を提供する市民総合文化祭を開催。 			<ul style="list-style-type: none"> ◆令和4年1月に文化芸術振興審議会を開催し、令和2年度の進捗状況を確認する。 ◆令和3年8月30日に総合文化芸術センターが開館したことに伴い、同センターで多彩な事業を実施している。 ◆文化芸術アドバイザーによるオープニング事業の内、3事業を実施した。1事業は実施に向けて準備を進めている。また、連携協定を締結したプロのオーケストラ団体との事業を展開している。 ◆令和3年9月に市民や市民団体に文化芸術活動の発表の場を提供する市民総合文化祭を開催した。 			
指標の説明			年度	R1年度	R2年度	R3年度
(実績値の内容) 文化事業の参加者へのアンケートによる満足度の割合(「満足」「概ね満足」と回答した設問数/総設問数) ※総設問数= アンケート回答者数×設問数			実績値 (%)	—	—	0
(目標値の根拠) 総設問数に対して「満足」「概ね満足」と回答した設問数が75%			目標値 (%)	—	—	75
指標のめざすべき方向		↑	達成度 (%)	—	—	0.00
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 17 誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち			達成度	/
	市長公約	—				
	実行計画	令和元年度当初実行計画			達成度の推移	
	関連計画	—				

10-④	文化財保護管理事業		担当課	文化財課	事業費計 予算額 (千円) ※人件費は除く	30,766
概要			進捗状況 (令和3年9月30日現在)			
<ul style="list-style-type: none"> ◆茄子作遺跡・藤田山遺跡・蹉跎東プレハブ文化財収蔵庫・伝王仁墓等の文化財用地の草刈り等を行い、保護管理する。 ◆特別史跡百済寺跡の再整備に伴う発掘調査で出土した金属製品等の遺物について、保存科学処理の実施。 ◆特別史跡百済寺跡のバス専用駐車場の管理委託の実施 ◆近年樹勢に衰えがみえつつある、府指定天然記念物枚方田中邸のむくについて、樹木診断を行い、管理計画に基づき必要な管理を行う。 ◆楠葉台場跡は、幕末の砲台場を保護している史跡であり、その維持のため施肥や除草、支障竹木の伐採を行い、保全管理する。 			<ul style="list-style-type: none"> ◆文化財用地の草刈りを7月に実施し、11月にも実施予定である。 ◆出土した金属製品等の遺物について、保存科学処理の実施をしている。 ◆百済寺跡見学者用バス駐車場の管理委託を実施した。 ◆枚方田中邸のむくの樹勢回復のため、管理計画に基づき土壌改良、施肥、定点観察を継続して実施している。 ◆楠葉台場跡では、草刈り、竹の間伐、清掃の定期管理の他、住民からの要望に対応する等、日常管理を行っている。 			
指標の説明		年度	R1年度	R2年度	R3年度	
(実績値の内容) 当該年度の遺物の保存科学処理事業進捗割合		実績値 (%)	100.00	100.00	100.00	
(目標値の根拠) 当該年度の国庫補助金の費消率		目標値 (%)	100.00	100.00	100.00	
指標のめざすべき方向		↑	達成度 (%)	100.00	100.00	100.00
関連計画	第5次総合計画	基本目標 地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち 施策目標19 地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち	達成度	/		
	市長公約	—	達成度の推移			
	実行計画	—				
	関連計画	—				

10-⑤	市指定文化財補助事業		担当課	文化財課	事業費計 予算額 (千円) ※人件費は除く	397
概要			進捗状況 (令和3年9月30日現在)			
<ul style="list-style-type: none"> ◆建造物の所有者に40,000円、建造物を除く有形文化財又は記念物の所有者に20,000円を交付する。これにより、市指定文化財の保存管理を支援する。 			<ul style="list-style-type: none"> ◆廃渚院観音寺鐘楼など3件の構造物と、意賀美神社の算額など建造物を除く有形文化財、民俗文化財及び記念物11件の交付申請を受理している。(交付予定額340円千円) 			
指標の説明		年度	R1年度	R2年度	R3年度	
(実績値の内容) 市指定文化財を管理・保存するために交付する補助金の件数		実績値 (件)	14	14	14	
(目標値の根拠) 市指定文化財を管理・保存するために交付する補助金の申請件数		目標値 (件)	14	14	14	
指標のめざすべき方向		↑	達成度 (%)	100.00	100.00	100.00
関連計画	第5次総合計画	基本目標 地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち 施策目標19 地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち	達成度	/		
	市長公約	—	達成度の推移			
	実行計画	—				
	関連計画	—				

10-⑥	特別史跡百済寺跡再整備事業		担当課	文化財課	事業費計 予算額 (千円) ※人件費は除く	136,060
概要			進捗状況(令和3年9月30日現在)			
<p>◆平成16年度に測量調査実施、平成17年度から平成25年度の9年間で発掘調査を行い、並行して整備準備を行う。また、再整備に向け、平成24年度から平成25年度に基本計画の策定と基本設計を行う。平成26年度に実施設計を行い、平成27年度より再整備工事に着手している。</p> <p>◆再整備工事着手後、工事の遅延や築地塀の構造細部、瓦の意匠検討等に時間を要したため、整備計画スケジュールを見直し、事業完了を平成30年度としていたが、令和5年度となる。</p>			<p>◆令和3年度は、7月に東南院の基壇を立体表示する工事を実施した。9月から東側進入口(スロープ及び階段)や排水等各種設備の整備工事に着手している。また、築地塀の実施計画を下半期に着手する予定である。</p>			
指標の説明		年度	R1年度	R2年度	R3年度	
(実績値の内容) 当該年度の事業進捗割合		実績値 (%)	100.00	100.00	100.00	
(目標値の根拠) 当該年度の国庫補助金の費消率		目標値 (%)	100.00	100.00	100.00	
指標のめざすべき方向		↑	達成度 (%)	100.00	100.00	100.00
関連計画	第5次総合計画	基本目標 地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち 施策目標19 地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち			達成度	/
	市長公約	平成29・30年度市政運営方針				
	実行計画	平成28年度当初実行計画			達成度の推移	
	関連計画	—				

10-⑦	市史編さん年報発行事務		担当課	文化財課	事業費計 予算額 (千円) ※人件費は除く	985
概要			進捗状況(令和3年9月30日現在)			
<p>◆歴史資料の収集・整理・保存ならびに市民の歴史に関する照会及び資料利用等の要望に応えるとともに、枚方市史年報を発行する。</p>			<p>◆枚方市市史年報第24号の原稿執筆を依頼している。</p> <p>◆市史関連歴史資料等の収集・整理・保存を順次実施している。</p> <p>◆市民等の歴史に関する照会及び資料利用等の要望に対応している。</p>			
指標の説明		年度	R1年度	R2年度	R3年度	
(実績値の内容) 市史関係の照会および市史資料の利用件数		実績値 (件)	372	219	163	
(目標値の根拠) 直近10年間のうち、利用件数上位5年の平均値		目標値 (件)	315	317	317	
指標のめざすべき方向		↑	達成度 (%)	118.10	69.09	51.42
関連計画	第5次総合計画	基本目標 地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち 施策目標19 地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち			達成度	/
	市長公約	—				
	実行計画	—			達成度の推移	
	関連計画	—				

10-⑧	各種スポーツ大会等開催事業	担当課	スポーツ振興課	事業費計 予算額 (千円) ※人件費は除く	1,114
概要		進捗状況(令和3年9月30日現在)			
<ul style="list-style-type: none"> ◆各種競技大会(総合体育大会等)の運営を公益財団法人枚方市スポーツ協会に委託し、実施。 ◆市内高校バレーボール大会を実施し、同競技の振興と青少年の健全育成を図る。 ◆ラグビーカーニバルを公益財団法人枚方市スポーツ協会に委託して実施。 		<ul style="list-style-type: none"> ◆新型コロナウイルス感染症の影響により、市内高校バレーボール大会は中止となった。 ◆ラグビーカーニバルについては、感染症対策を講じた上で、今年度中の実施に向けて、枚方市スポーツ協会と協議を進めている。 			
指標の説明		年度	R1年度	R2年度	R3年度
(実績値の内容) 各種大会等参加者数		実績値 (人)	22,560	5,800	0
(目標値の根拠) 昨年度目標値又は直近3年実績値の平均のどちらか多い数		目標値 (人)	24,918	24,918	24,918
指標のめざすべき方向		↑	達成度 (%)	90.54	23.28
関連計画	第5次総合計画	基本目標 健やかに、生きがいを持って暮らせるまち 施策目標6 誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち			達成度
	市長公約	—			達成度の推移
	実行計画	平成28年度当初実行計画			
	関連計画	—			

10-⑨	スポーツ推進事業	担当課	スポーツ振興課	事業費計 予算額 (千円) ※人件費は除く	228
概要		進捗状況(令和3年9月30日現在)			
<ul style="list-style-type: none"> ◆策定されたスポーツ推進計画に基づき、「だれもが生涯にわたってスポーツに親しみ、スポーツを通じて健康を増進し、人と人との交流を深めることを支える」を基本理念として、関係部署と連携を図りながらスポーツ施策を推進していく。 		<ul style="list-style-type: none"> ◆6月21日から施設の利用を再開したことに伴い、各スポーツイベントも、感染症対策を講じた上で徐々に再開している。 ◆スポーツ推進計画の具体的施策を点検・評価する枚方市スポーツ推進審議会については、2～3月に開催予定である。 			
指標の説明		年度	R1年度	R2年度	R3年度
(実績値の内容) スポーツ活動者数 (競技大会等のスポーツイベントの参加者数及びスポーツ施設の利用者数)		実績値 (人)	1,102,369	582,169	0
(目標値の根拠) 昨年度目標値又は直近3年実績値の平均のどちらか多い数		目標値 (人)	1,150,649	1,150,649	1,150,649
指標のめざすべき方向		↑	達成度 (%)	95.80	50.60
関連計画	第5次総合計画	基本目標 健やかに、生きがいを持って暮らせるまち 施策目標6 誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち			達成度
	市長公約	平成29・30年度市政運営方針			達成度の推移
	実行計画	平成28年度当初実行計画			
	関連計画	—			

10-⑩	総合型放課後事業（放課後キッズクラブ）		担当課	教育支援室 (放課後子ども担当)	事業費計 予算額 (千円) ※人件費は除く	46,141
概要			進捗状況（令和3年9月30日現在）			
<p>◆子どもにとって望ましい「放課後」を実現していくために令和2年3月に策定した「児童の放課後を豊かにする基本計画」を踏まえ、本市の実情に即した児童の総合的な放課後対策の計画的な整備を適切かつ円滑に行う。</p> <p>◆令和3年度においては、「総合型放課後事業（放課後キッズクラブ）」を土曜日及び、三季休業期の実施で、小学校4校（直営2校、委託2校）に先行導入しており、その検証結果等を踏まえ、全小学校への平日を含む本格導入に向けた検討を行う。</p>			<p>◆令和3年4月から、市内4校（直営2校：川越・津田、委託2校：山田・サダ）にて先行導入を開始した。</p> <p>◆5月と8月に、導入校の放課後子ども教室の運営に対する満足度に関する保護者アンケートを実施。</p> <p>◆11月に第1回児童の放課後対策審議会を開催予定である。</p>			
指標の説明		年度	R1年度	R2年度	R3年度	
(実績値の内容) 放課後キッズクラブの核となる、留守家庭児童会室と放課後子ども教室の総合的な運営事業に参加した児童と保護者の満足度		実績値 (%)	—	モデル事業中止のため実績なし	88.8 (保護者アンケート結果のみ)	
(目標値の根拠) 放課後キッズクラブの核となる、留守家庭児童会室と放課後子ども教室の総合的な運営事業に参加した児童と保護者の満足度。		目標値 (%)	—	80.00	80.00	
指標のめざすべき方向		↑	達成度 (%)	—	—	88.8
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 15 子どもたちが健やかに育つことができるまち			達成度	/
	市長公約	平成29・30年度・令和元・2・3年度市政運営方針				
	実行計画	平成30年度当初実行計画			達成度の推移	
	関連計画	—				

10-⑪	留守家庭児童会室運営事業		担当課	教育支援室 (放課後子ども担当)	事業費計 予算額 (千円) ※人件費は除く	77,516
概要			進捗状況（令和3年9月30日現在）			
<p>◆民間活力の活用や適切な施設整備、学校の余裕教室の活用など、留守家庭児童会室事業の再構築に向けた検討を行う。</p>			<p>◆令和3年度4月より、山田小、さだ小、川越小、津田小の4校において、留守家庭児童会室を含む放課後キッズクラブの先行導入を開始した。</p> <p>◆民間活力も活用しながら、留守家庭児童会室の円滑な運営に努めている。</p>			
指標の説明		年度	R1年度	R2年度	R3年度	
(実績値の内容) 待機児童数（1月末時点）		実績値 (人)	0	0	0 (10月1日現在)	
(目標値の根拠) 待機児童数		目標値 (人)	0	0	0	
指標のめざすべき方向		↓	達成度 (%)	100.00	100.00	100.00 (10月1日現在)
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 15 子どもたちが健やかに育つことができるまち			達成度	/
	市長公約	平成29・30年度・令和元・2年度市政運営方針				
	実行計画	平成30年度当初実行計画			達成度の推移	
	関連計画	—				

10-⑫	枚方子どもいきいき広場補助事業		担当課	教育支援室 (放課後子ども担当)	事業費計 予算額 (千円) ※人件費は除く	32,231
概 要			進捗状況 (令和3年9月30日現在)			
◆これからの時代を生きる子どもの「生きる力」を育むことを目的として、市内45小学校区で、土曜日の学校休業日を基本に、地域の特色や多様性を活かしたプログラムを児童健全育成事業として実施する。地域団体やNPO等に対し支援・助成を行う。			◆新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、いきいき広場事業の活動を9月末まで休止、10月より開始した。その後も感染状況を注視し、感染防止対策を十分に講じて、活動を実施している。 ◆いきいき広場事業の活動団体代表者会議を10月に開催し、活動報告や取組みについて情報交換を行う予定である。			
指標の説明		年度	R1年度	R2年度	R3年度	
(実績値の内容) 参加した子どもにおける事業の満足度 (算出式：満足度の高いアンケート回答者数 /アンケート回答者数)		実績値 (%)	—	アンケート調査未実施のため 実績なし	調査未実施 (9月30日現在)	
(目標値の根拠) 参加した子どもにおける事業の満足度		目標値 (%)	—	80.00	80.00	
指標のめざすべき方向		↑	達成度 (%)	—	アンケート調査未実施のため 測定不能	調査未実施 (9月30日現在)
関連 計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 15 子どもたちが健やかに育つことができるまち			達成度	
	市長公約	—			達成度の 推移	
	実行計画	平成30年度当初実行計画				
	関連計画	—				